

第七十四回帝國議會
衆議院

昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外二件

委員會會議錄(速記)第九回

會議

昭和十四年二月十四日(火曜日)午前十時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 板谷 順助君

理事松尾 四郎君 理事宇賀 四郎君

理事森 幸太郎君 理事山崎 常吉君

駒井 重次君 紫安新九郎君

遠山 房吉君 大野 一造君

川崎末五郎君 中村不二男君

松田 正一君 深澤 吉平君

金澤 正雄君 野口 喜一君

宮澤 清作君 東條 貞君

田中源三郎君 高島龜太郎君

平野 力三君 坂本宗太郎君

塚本 重藏君 野溝 勝君

道家齊一郎君 青木 作雄君

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

厚生大臣 廣瀨 久忠君

大藏大臣 石渡莊太郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 松村 光三君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏書記官 松隈 秀雄君

文部省宗教局長 松尾 長造君

厚生省體力局長 佐々木芳遠君

厚生省勞働局長 成田 一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

兌換銀行整理法中改正法律案(政府提出)

農業再保險特別會計法案(政府提出)

○板谷委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、田中源三郎君カラ御要求ニナリマシタル國防

獻金ニ關スル明細表ガ、政府カラ提出サレマシタカラ、之ヲ速記録ニ掲載致シマス――

松尾四郎君

○松尾委員 私ハ文部省所管ノ豫算ノコトニ付テ一點伺ヒタイノデスガ、此ノ豫算參

考書ニアリマスル史蹟名勝天然記念物保存費五万一千二百二圓、更ニ史蹟臨時保存費

トシテ二万一千五百圓計上サレテ居リマスガ、臨時史蹟保存費ト云フノハ、ドウ云フ

風ニ御使用ニナル御豫定デアリマスカ、之ヲ御伺致シマス

○松尾政府委員 史蹟ニ關スル保存費ガ、仰セノ通り經常費ト臨時費トニ別レテ居リ

マス、此ノ臨時費ノ方ハ、明治天皇竝ニ御歷代ノ天皇ノ御聖蹟ノ保存ニ充當スル爲ニ、

特ニ臨時費トシテ計上シテアル次第デアリマス

○松尾委員 是ハ本年限りノモノデアリマス

スカ、又ハ何年カ繼續的ニナリマシテ、何年カノ間ニ其ノ仕事ヲ終ラレル御豫定デアリマスカ伺ヒマス

○松尾政府委員 臨時費ニハ相成ツテ居リ

マスケレドモ、毎年更新シテ要求致シマシ

テ、當分ノ間ハ繼續シテ毎年計上セラレル豫定デアリマス

○松尾委員 當分ノ間ト仰セラレマスガ、凡ソ豫定ガアラレルノデハナイカト思ハレ

マス、若シソレガアレバ承リタイ、ソレカラモウ一點ハ、先般新聞デ拜見致シマス、

今回紀元二千六百年ノ奉祝紀念事業トシ

テ、神武天皇ノ御聖蹟ヲ調査保存顯彰ニ付

テ、委員會ヲ制定セラレマシタコトヲ拜見致シマシタ、且ツ其ノ委員會モ第一回ヲ開

カレテ居ルヤウニ見マシタガ、ソコデ其ノ豫算ハ此ノ本豫算トハ、ドンナ關係ニナル

ノデゴザイマスカ、ソレヲ伺ツテ置キタイ

○松尾政府委員 臨時費ガ 明治天皇竝ニ御歷代ノ天皇ノ御聖蹟ノ調査保存ノ爲ニ計上セラレテ居ルノデアリマスカラ、其ノ目的ガ十分達セラレルマデハ之ヲ繼續シタイト、

付託議案

昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
作業會計法中改正法律案(政府提出)
兌換銀行券整理法中改正法律案(政府提出)
農業再保險特別會計法案(政府提出)
海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出)
北海道新殖銀行法中改正法律案(政府提出)

斯ウ云フ心組デ居リマスノデ、凡ソ今三年トカ五年トカ年數ハ申上ガ兼ネルノデアリマスケレドモ、精々勉強致シマシテ、速ニ目的達成ヲ期シタイト存ジテ居リマス、神武天皇ノ聖蹟調査ニ付キマシテハ、先般委員會ガ官制ヲ以テ設ケラレマシテ、其ノ初總會ガ數日前ニ開催致サレマシタコトハ、仰セノ通りデアリマス、之ニ關スル經費ハ御承知ノ通り皇紀二千六百年記念事業ト致シマシテ、皇紀二千六百年式典ノ奉祝會ガ出來テ居リマシテ、其ノ方ノ豫算ガ本省カラ同付ニナリマスノデ、其ノ方カラ支出致シマス、但シ人件費ヲモ件ヒマスノデ、人件費ダケハ國ノ豫算ニ計上致シマシテ、他ハ歲入歳出外ノ現金トシテ處理致ス次第デゴザイマス

○松尾委員 私ハ其ノ委員會ノ事ニ付テ進ンデ御伺ヲ致シタイノデスガ、神武天皇ノ御聖蹟ハハツキリシタモノガ甚ダ少イノデアリマス、ト云フノハ不明瞭ナモノガ多イト云フコトニナルノデアリマシテ、今日マデ是ガ不明瞭ノ儘ニナツテ參ツテ居リマシタコトハ、甚ダ恐懼ノ至リニ存ズルノデゴザイマス、早ク之ヲ明瞭ナモノニシテ貰ハナケレバ、次カラ次ヘト段々色々ナ説ヲ構ヘテ、本當ニ正シイモノマデモ不明瞭ナモ

ノノ中ニ織込マレテ行クト云フヤウナ状態ニナルコトヲ實ハ憂ヘマシテ、今回ノ調查會ガ出來ルコトヲ期待致シテ居ツタノデアリマス、ソコデ今回ノ調查會ハ相當學會ノ權威者ヲ集メテ居ラレマシテ、文部省ガ官制ヲ以テオヤリニナルノデゴザイマスカラ、十分徹底シタ御調査ガ出來ルコト私ハ信ジテ居ルノデゴザイマス、併シ聖蹟ニハソレト皆因縁ガアリマシテ、大抵學者、政治家、或ハ實業家ノ大立物ト云フヤウナ人ガ、一人ヤ二人位ハ因縁ガアツテ推薦ラシ、或ハ其ノ聖蹟ノ調査ニ援助ヲ與ヘテ居ル、又自分デ意見ヲ御書キニナツテ發表シテ居ルト云フヤウナモノガ多イノデゴザイマス、ソコデ今回ノ調査ニハ、サウ云フコトヲドンナ扱ニナラレル御決心デアリマスカ伺ヒタイ、第一荒本文部大臣ガ、或ル神武天皇ノ御聖蹟ノ地ニ寄附ラシテ居ラレマシテ、其ノ地ヲ殆ド決定的ニ書カレタヤウナモノモ出シテ居ラレマスカラ、勿論ソレハ文部大臣ニ御就任ニナル以前ノコトデゴザイマスノデ、今日大臣ノ責任ヲ問フト云フ意味デ、私ハ申スノデハゴザイマセスガ、サウ云フヤウナ因縁情實ガ各所ニアリマスガ、此ノ因縁ヲドウ云フ風ニシテ捌イテ行カレマスカ、之ヲ勇敢ニ其ノ因縁情實ニ因ハレズ、徹底シ

テヤツテ行カナケレバ、折角澤山ナ金ヲ使ヒ、學界ノ權威者ヲ集メテオヤリニナツテモ、其ノ效果ヲ私ハ甚ダ憂ヘルノデアリマシテ、之ニ對シテ文部當局ハドウ云フ御決心ヲ持ツテ居ラレマスカ、此ノ機會ニ御意見ヲ承ツテ置キタイ

○松尾政府委員 洵ニ御尤ナ御注意デアリマシテ、有難ク伺ツタノデアリマス、仰セノ通り神武天皇ノ御聖蹟ハ事悠遠ノ上代ニ屬シマスノデ、其ノ間ニ於キマシテ、今日聖蹟ト一般ニ呼バレテ居リマスモノニ付キマシテモ、只今御開陳ノ通り、或ハ傳説ガソレニ絡マリ、或ハ各種ノ地元ノ意見ガソレニ加ハリ、色々ノ因縁ガ附纏ツテ居ルコトハ、私共承知致シテ居ルノデアリマス、隨テソレ等ノモノニ迷ハサレテ居リマスルト、勢ヒ不徹底ナコトニ相成リマスノデ、先程申上ゲタ委員會ニ於キマシテハ學識ト云ヒ、人格ト云ヒ申分ノナイ方ヲ網羅シタ積リデアリマス、ソレ等ノ方々ガ公正妥當ナル見地ニ於キマシテ、ソレ等ノ變ナ因縁トカ情實ニ因ハレナイ、公正ナル立場カラ徹底的ニ調査審議致シマスナラバ、明瞭ナル一ツノ判斷ガ適當ニ導キ出サレルモノデアラウト、斯ウ確信致シマスノデ、ソレ等ニ付キマシテ十分ナル注意ノ下ニ、徹

底的調査ヲ期シテ居ル次第デアリマス
○松尾委員 何等制肘ヲ加ヘラルコトナク、御決定ニナラルルト云フ御決心ノ程ヲ伺ヒマシテ、私ハ至極満足ヲ致ス者デゴザイマガ、特ニ此ノ點バカリ申上ゲルノデハゴザイマセスガ、現ニ今文部大臣トナツテ居ラレマスル荒木サンガ、大臣ニ御就任前ニ決メラレタヤウナコトハ、今度ノ會議等ニ於キマシテハ、別ニサウ云フモノニ依ツテ動カサレルト云フヤウナコトハ、斷ジテアリ得ナイコトト思ヒマス、又ソレデアレバ其ノ通り決定シテ宜シイト存ジマスカラ、ソレニ依ツテ動カサレルモノデナイト云フコトハ、今ノ局長ノ言明ニ依ツテ十分承知出來マスガ、何等サウ云フ點ノ制肘ヲ受ケナイト云フコトノ、更ニ御決心ヲ伺ヒタイノデス、ソレカラモウ一ツハ何時頃マデニ完了セラレル御見込デアリマスカ、即チ明年ガ皇紀二千六百年ニ當リマシテ、明年ニ御祭典ヲ行ヒ、又保存顯彰ノ施設モ行ハナケレバナラヌノデゴザイマスガ、然ルニ調査ガソレ以前ニ済マスト云フコトデゴザイマシタナラバ、又此ノ御祭典ニ際シマシテ何處ニ御詣リヲシテ宜イノカ、何處ニ建國以前ノ尊イ御聖蹟ガアルノカ分ラスト云フヤウナコトデハ、折角ノ御祭典ニ間ニ合ハ

スト云フヤウナコトデ、甚ダ遺憾ニ存ズル
ノデアリマスガ、其ノ調査ノ完了成リマス
ル御豫定ガアレバ伺ツテ見タイ

○松尾政府委員 聖蹟ノ土地ニ付キマシテ
ハ、從來或ハ碑ガ立ツタリ、標識ガ設ケラ
レタリ色々シテ居ラウカト存ズルノデアリ
マス、併シソレ等ニハ關係ナク、只今仰セ
ニナリマシタ通りニ、公正ナル立場カラ調
査研究ヲ徹底シタイト考ヘテ居ルノデアリ
マス、ソレカラ調査ノ状況ハ、只今著手シ
タバカリデアリマスルガ、只今仰セノ通り
ノヤウナ事情モ、私共能ク考ヘテ居リマス
ルノデ、能フコトナラバ明年ノ夏頃マデニ
ハ調査ヲ完了致シタイト、斯ウ云フ考ヲ持
ツテ居リマス

○板谷委員長 松尾君、大藏大臣ガ御見え
ニナツテ居リマスカラ、アナタ一寸御待チ
下サイ、大藏大臣ニ對スル質疑ガ保留サレ
テアリマスルノデ、此ノ際簡單ナ質問ナラ
御許致シマス——東條貞君

○東條委員 先達テ來四分以上ノ公債ノコ
トニ付テ、大分質疑應答ガアリマシタノデ、
其ノ事柄ニ付テ重複ヲ避ケテ、唯一點ダケ
御伺シテ置キタイ、四分以上ノ公債ヲ此ノ
場合三分五厘ニ利子ヲ引下グベキダト云フ
コトガ、大分アチコチ唱ヘラレテ居ルノ

ヲ、私共聞イテ居ルノデアリマス、斯ウ云
フコトヲ申シマスル人ハ、無論金融事情デ
アルトカ、經濟事情デアルトカ、或ハ今後
公債ヲ募集スル上ニ於テドウ云フ影響ガア
ルトカ云フヤウナコトニ付テノ、知識モナ
ケレバ考モ持タナイ階級ノ人デアリマスケ
レドモ、此ノ非常ノ場合ニ於テ、サウ云フ
高利ノ公債ヲ持ツテ居ル者ハ、自ラ辭退シ
テデモ最低ノ利率ニ甘ンズベキダト云フヤ
ウナコトガ、大分各方面ニ廣ク、殊ニ下層
ノ階級ナドニ、切リニ唱ヘラレテ居ルノヲ、
私共耳ニスルノデアリマス、是ハ大藏當局
トシテノ立場カラ御考ニナリマスナラバ、
ソシテ無茶ナコトヲ言ツタトテ駄目ダト云
フ風ニ、御考ニナルコトガ當然ト思ヒマスル
ケレドモ、併シ今後所謂長期建設ノ方針デ
キマスル以上ハ、所謂國民全體ノ時局ニ對
スル氣分ト云フモノヲ、餘程御考慮ニナラ
ナケレバナラス、長引ケバ長引キマス程、
國民ノ精神ノ總親和ト申シマスカ、此ノ
時局ニ對シテ眞剣ナ氣持デ、之ヲ乗切ツテ
行カネバナラスト云フ氣分ヲ昂揚致シマセ
ストイケナイコトハ、申スマデモナイコト
デアリマス、公債政策ト云フモノニ付テノ
知識ノナイ階級デアリマシテモ、國民ノ比
較的ニ中以下ノ階級ニ、サウ云フ氣分ガ非

常ニ起ツテ居リマスルコトハ、大イニ注意
ヲセネバナラスコトト思フノデアリマス、
私共モソレニ付テ色々方面カラ説明ヲ試
ミマスルケレドモ、彼等ノ申シマスルコト
ハ、吾々ハ今マデ斯ウ云フ平和産業ニ携ツ
テ居ツテ、ソレガ時局ノ爲ニ、統制ノ爲
ニ斯ウ云フ犠牲ヲ拂ツテ居ル、唯持ツテ居
ル公債ノ利子位ナ問題デハナイ、自分ノ生
活ノ唯一ツノ道ニ付テモ、是ダケノ吾々ハ
犠牲ヲ拂ツテ居ルノデアルカラシテ、金融
資本家等ガ持ツテ居ル高利ノ公債ハ、國ノ
力デ最低ノ利率ニ引下グテ宜イノデアル、
寧ロ彼等ガ進ンデ辭退スベキデアルト云フ
ヤウナコトヲ言ツテ居ル者ガ、非常ニ多イ
ノデアリマス、是ハ金融事情等カラ考ヘマ
シテ、其ノ意見ニ直チニ承服スルコトハ出
來ナイコトデアリマスケレドモ、國民ノ精
神ノ動キト云フ方面カラ見マシテ、餘程
注意ヲセンケレバナラスコトト考ヘルノデ
アリマスガ、此ノ四分以上ノ公債ニ付キマ
シテハ、單純ナ金融政策デアルトカ、或ハ
公債政策デアルトカ云フ見地バカリカラ考
フベキデハナイト私共ハ思フ、斯ウ云フ中
以下ノ階級ノ見方ト云フモノガ段々深刻ニ
ナツテ來マスト、是ガ色々方面ニ思ハヌ
形デ現ハレテ來ルト云フコトヲ憂慮センケ

レバナラスノデアリマス、サウ云フ方面ニ
付テ、何カ今マデデモ考慮ヲ拂ハレテ居リ
マセウカドウカ、ソレヲ伺ツテ見タイ

○石渡國務大臣 四分以上ノ公債ト申シマ
シテモ、四分、四分半利ト云フモノハ、極
ク僅カナモノデスカラ、結局五分利公債ノ
問題ダラウト思ヒマス、五分利公債ニ付テ
ハ、御承知ノ通りニ今日二十億圓程アリマ
ス、之ヲ借換ヘルカ借換ヘナイカト云フコ
トハ、私ハ借換ヘナイトハ申シマセヌ、時
期ガ來タナラバ、是ハ借換フベキモノデア
ラウト思ツテ居リマス、思ツテ居リマスガ、
先般モ御説明致シマシタ通り、此ノ二十億
圓ト云フモノハ、今アナタノ仰シヤツタヤ
ウナ見地カラ言ツテモ、半分以上ノモノハ
預金部ガ持ツテ居リ、其ノ他公共團體、財
團法人等ガ持ツテ居ツテ、一般市中ニ於テ
持ツテ居ルノハ極メテ少イ、サウ云フヤウ
ナコトカラ考ヘレバ、今アナタノ仰セニナ
ツタヤウナ思想的ナ考ト云フモノモ比較的
少イ、殊ニ一方ニハ三分半ノ公債ト云フモ
ノヲ、一箇月ニ數億圓發行シテ行カネバ
ナス、二十億圓ト云フモノハ、結局今日ノ
公債ノ發行額カラ行ケバ四月カ五月分シカ
當ラナイ、總額カラ言ツテモ比較的少イ、
隨テ今日ノ場合之ヲ考ヘルノハ、サウ大キ

イ問題デハアルマイト思フ、斯ウ申上ゲタ
譯デアリマス、決シテ借換ヘナイト申上ゲ
タ譯デハアリマセヌ、時機ヲ見タラバ――

ソレハ好イ時機ガアツタラ借換ヘルベキモ
ノデアラウト存ジマスガ、併シナガラ何デ
モ之ヲ借換ヘナケレバイカヌ、重大問題デ
アルトムキニナル程サウ大キナ問題デモナ
イト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○東條委員 是ハモウ繰返ス必要ノナイコ
トト思ヒマスガ、國民ノ多數ハ、ソレガド
ウ云フ所ニ所有サレテ居ルカト云フコトニ
付テモ、知ラナイ者ガ多イノデアリマシテ、
適當ナ機會ニ適當ナ解決ヲサレルヤウニ希
望致シタイト思フノデアリマス

ソレカラ今一點會計ニ關スル事柄デアリ
マスルガ、今マデデモ例ヘバ數年前ニ鐵道
疑獄ナダガ起リマシタ當時ナド、工事ノ請
負トカ、物品ノ購入ニ關スル方法ニ付テ、殊
ニ工事ノ請負ナドニ付テ、何等カ適當ナ方
法ヲ考ヘナケレバナラヌト云フコトヲ、政
府ノ各方面ノ當局ニ於テモ御考ヘニナリ、
議會デモ大分色々意見ガ出タヤウデアリ
マス、其ノ後今日餘リサウ云フ方面ニ、當
局モ深く御研究ニナツテ居ナイヤウデアリ
マスガ、政府ノ手デ使ハレマスル金ガ非常
ニ多クナリマスニ從ツテ、斯ウ云フ方面ニ

特ニ注意ヲ拂ハレナケレバナリナイト思ヒ
マスル事柄ガ、吾々ノ耳ニモチヨイ／＼入
ルノデアリマス、若シ此ノ事變下ニ於テ、
殊ニ此ノ時局ニ最モ深い關係ヲ持チマスル
金ノ使方ニ付テ、萬一疑獄事件ガ起ルト云フ
ヤウナコトガ今マデデモ絕對ニ無イ譯デハ
アリマセヌ、昨年アタリモアツタノデアリ
マスガ、頻々ト起ルヤウナコトガアリマス
ルト、是ハ非常ニ重大ナ影響ヲ及ボスコト
ト思ヒマス、色々議論ハシテ見ルガ、良イ
方法ガ見付カラヌカラト云フノデ、ソレナ
リニナツテ居ルノデハナイカト思ヒマスル
ケレドモ、此ノ請負ニ關スル色々ナ規則ニ
致シマシテモ、物品ノ購買ニ關スル方法ニ
付キマシテモ、非常ニ缺陷ガ多イノデアリ
マス、之ニ付キマシテ本當ニ何カ根本的ノ
改正ヲシテ見ヨウト云フヤウナ御考ヲ御持
チニナツテ居リマスカ

○石渡國務大臣 此ノ契約ノ問題ハ前々カ
ラ問題ノアリマシタコトハ、東條サンノ仰
シヤツタ通りデアリマス、是ハ中々難カシ
イコトデ、是亦アナタガ最後ニ仰シヤツタ
通りデアリマシテ、結局ハドウモ其ノ局ニ
當ル人ヲ、餘程嚴選スルト云フコトガ必要
デアルト思フノデアリマスガ、是ハ豫算ガ
斯ノ如ク大キクナツテ行キマス際ニ、契約

其ノ他ニ付テ、萬一間違ガアルヤウナコト
ガアリマシタナラバ、容易ナラザル問題デ
ゴザイマスノデ、寄リ／＼協議致シテ居リ
マス、今日マダ成案ヲ得テ居リマセヌガ、
如何ニシテ此ノ制度ヲ運用シ、改善シテ行
クカト云フコトニ付テハ、將來トモ十分研
究スルコトニ致シマス、今日ハ申上ゲルマ
デニ立至ツテ居リマセヌ

○東條委員 是ガ檢舉サレテ法廷ニ出マス
ト、吾々ノ常識デ考ヘレバ、所謂刑事的ナ
モノデアルトカ、別ニ追究スル必要ノナイ
ト思ハレルヤウナ程度ノモノデアリマシテ
モ、直チニソレガ刑事上ノ問題トナリマシ
テ、サウシテ重イ罪ヲ科セラレルト云フヤ
ウナコトニナルノデアリマス、時局關係ニ
於キマシテ、具體的ナコトハ申シマセヌケ
レドモ、私共ノ眼ニ付キマスル所デハ、隨
分目ニ餘ルヤウナ事柄ガ相當ニ見エル、是
ハ必ズシモ非常ナ惡意ガアルトハ言ヒマセ
ヌケレドモ、人情ノ自然、サウ云フ所ヘ流
レテ行ツテ居ルノデハアリマセウケレド
モ、若シ是等ガ所謂爬羅剔抉ヲ蒙ルコト
ニナルナラバ、相當廣イ範圍ニ問題ヲ及ボ
スノデハナイカト云フヤウナコトガ、始終目
ニ入り、耳ニ聞クノデアリマスガ、此ノ問
題ハ難カシイ問題ダカラ、容易ニ成案ガ得

ラレナイカラト云フヤウナ態度デナシニ、
何トカ一ツ特ニ急速ニ御研究ニナツテ、適
當ナ方法ヲ御講ジニナル必要ガアルト思ヒ
マス、御話ニ依リマス、研究ハシテ居ル
ノダガ、マダ成案ハ得テ居ナイト云フ御話
デアリマスガ、モウ少シ積極的ニ一ツ適當
ナ機關デモ設ケテ、根本的ノ改革ヲナサル
御考ハアリマセヌカ

○石渡國務大臣 能ク一ツ考ヘテ置キマス
○板谷委員長 大藏大臣ハ御忙シイデアリ
マセウケレドモ、今ノ五分利公債ノ借換問題
ニ付キマシテ、アナタノ今マデノ御答辯ハ、
徹底シテ居ラスト思ヒマスカラ、此ノ際簡
單ニ一ツ御伺シタイト思フノデアリマス

○石渡國務大臣 其ノ前ニ一寸速記録ノ「ミ
スプリント」ヲ一箇所申上ゲテ置キタイト思
ヒマス、國債ノ五分利公債借換ニ付テ預金
部ガ持ツテ居ルノデアツテ、重要性ガ「感ゼ
ラレル」ト云フノハ、「減ゼラレル」デアリマ
ス、「減ゼラレル」ト私ガ言ツタノガ「感ゼ
ラレル」ト速記録ニナツテ居リマス、其ノ
點ダケ御含ミ置キヲ願ヒマス

○板谷委員長 尙ホ御尋シタイノデアリマ
スガ、此ノ五分利公債ノ借換ニ付キマシテ、
先般宇賀君ノ御質問ニ對シ、又松田君ノ御
質問ニ對シテ、アナタガ仰シヤツテ居ルコ

トガ、或ハ多少何ト言ヒマスカ、言ヒ直シト言ヒマスルカ、要スルニ其ノ趣意ガ、現在二十二億ノ中ノ半分以上ハ預金部ガ持つテ居ル、公共團體ガ持つテ居ルノデアルカラ、借換シナイヤウニモ取レルノデアリマス、併シナガラ現在低金利ノ時代ニ於テ、四分二三厘ノ社債ヲ發行スルト云フ此ノ時代ニ於テ、未ダニ五分利ノ公債ガ残ツテ居ルト云フコトハ、對外的ニ見マシテ、或ハ國內のカラ見マシテモ、如何ニモ國民ノ緊張スル此ノ場合ニ於テ、甚ダ私ハ不條理ダト思フ、馬場大藏大臣ノ時代ニ一部借換ヘラレタノガ、今日デハ其ノ儘ニナツテ居ル、ダカラドウシテモ是ハ借換シタ場合ニ於テハ、後ノ持チ手ガナイト云フヤウナ意味ノ御話モアツタケレドモ、預金部ハ何モ儲ケル必要ハナイノデアリマスカラ、預金部ニ持タシタラドウデスカ、私ハ大シタ問題デナイト云フ今御答辯ガアツタノデアリマスケレドモ、是ハ此ノ際至急借換スベキモノデアル、斯ウ考ヘルノデアリマスガ如何デスカ

○石渡國務大臣 委員長ノ御言葉デスガ、私ハ至急ニ借換スベキ必要ハナイト思フノデアリマス、ソレハ結局預金部ガ持つテ居ルト、斯ウ申上ゲタコトニハ、今東條サンカ

ラノ御説ノヤウナコトガアルノデアリマス、併シ其ノ半分以上ノモノハ預金部ガ持つテ居ル、ソレガ多額ノモノデアルト云フナラバ別デアリマスケレドモ、總額カラ言ツテモサウ大シタモノデナイ、デスカラ借換ヘナイトハ言ヒマセヌ、時機ヲ見テ御説ノ通リソレハ借換ヘルベキモノデアリマセウ、併シサウ是非トモ之ヲヤラナケレバイカヌト云フモノデモナイト思フノデス、ソレデ一方一箇月ニ何億圓ト云フ公債ヲ發行シテ行クノデスカラ、此ノ公債發行ノ妨ゲニナルヤウナコトデハ困リマスカラ、妨ゲノナイヤウナ時期ヲ擇ンデ借換ヘルト云フコトナラ、私モチツトモ異議ゴザイマセヌ、又借換ト云フコトニ、理窟トシテ勿論異議ゴザイマセヌ、ソレハ借換ヘルモノト思ヒマスガ、此ノ際借換ヘルコトガ是非トモ必要デアルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ

○板谷委員長 意見ノ相違デアリマスカラ已ムヲ得マセヌケレドモ、サウ云フ御意見デアルトスレバ、私共承服スルコトハ出來マセヌガ、是レ以上質問致シマセヌ、宜シウゴザイマス、アナタノ方ノ質疑ハ終リマシタ、引續イテ文部大臣ニ對スル質疑ヲ許シマス——松尾四郎君

○松尾委員 先刻文部大臣ハ御見エニナラ

ヌカト思ヒマシタカラ、宗教局長ノ御答辯ヲ得テ置キマシタガ、重複ニナルコトヲ成タケ避ケタイト思ヒマスノデ、一點ダケ大臣ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス此ノ度皇紀二千六百年記念事業トシテ神武天皇ノ御聖蹟調査、保存、顯彰ニ付テ其ノ調査委員會ヲ文部省ニ御設立ニ相成リマシタ、學界ノ權威者ヲ集メテ調査ヲ進メラレル委員會デアリマスガ、洵ニ私ハ其ノ御計畫ニ對シテ敬意ヲ表シテ居ル次第デアリマス、官制ニ於テ設ケラレマシタ委員會ニ、御諮問ニ相成リマシテ御決定ニナリマス御聖蹟、此ノ御聖蹟ニ付テハ大臣モ御承知ノ通り、是ハ文部省ガ優柔不斷デダラ、シテ居ツテ、ハツキリ決メナイデ今日マデ來タ罪ダト思フガ、各所デ同ジヤウナコトヲ言ツテ居ル、ソレガ爲ニ聖蹟ノ場所ニ付テ學界、政治家、實業家ナドノ偉イ人ト因縁ガ結ビ付イテ居リマシテ、大抵ノ御聖蹟ト稱ヘラレル所ニハ、一人カ二人後援ヲシテ居ルトカ、援助シテ居ルトカト云フヤウナコトニナツテ居リマス、又既ニ大臣モ——大臣御就任ノ前デハゴザイマスガ、或ル場所ニ御揮毫シテ居ラレルト云フヤウナコトガアリマシテ、其ノ情實因縁ト云フモノガ、此ノ調査會ニ相當制肘ヲ加ヘマシテ、決定ヲシ兼ね

ルヤウナ状態ニ行クノデハナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、ソコデ今回ノ企テハ、相當長イ間調査會ノ構成ニ付テモ、文部省ト祝典事務局トノ間ニ交渉ガアツタコトヲ、私ハ仄聞シテ居リマス、御決心ガアツテオヤリニナツタコトト存ジマスケレドモ、餘程徹底シテオヤリニナラナイト、因縁ガ加ツテ來テ、遂ニ好イ加減ナコトニ決マルノデハナイカト心配シテ居リマス、ソコデ是ハ事皇室ニモ關係ノアル重要ナコトデアリマスノミナラズ、建國精神ヲ顯揚スル樞原神宮ノ御造營ト相關聯シマシテ、其ノ以前ノ御事蹟ガハツキリシナケレバナラヌト云フコトハ、申上ゲルマデモナイコトデゴザイマスカラ、徹底シテドウカ因縁情實ヲ排シテ、何等ノ制肘ヲ加ヘラレルコトナク、斷乎トシテ御決定ヲ願ヒタイ、サウ云フ御意思ガアルヤ否ヤト云フコトヲ、先刻局長ニ伺ツテ置キマシタガ此ノ機會ニ於テ大臣ノ所見ノ程ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○荒木國務大臣 神武天皇御聖蹟ノ調査ニ付テハ、多分宗教局長カラ申上ゲタコトト思ヒマスガ、既ニ委員會ヲ設ケテ方針ヲ決定シテ、委員ガ今日マデノ深キ蘊蓄ヲ傾ケテ調査研究スルコトニナツテ居リマス、徹底

的ニ之ヲ調査スルコトハ當然デアリマスル
ガ、何分ニモ古イコトデゴザイマスノデ、
餘リニ焦ツテ之ヲ決定致シマスコトハ、却
ツテ多クノ害ヲ後世ニ殘シ、御聖蹟ヲ調査
スルコトガ反對ノ結果ヲ來スト云フコトヲ、
私共實ハ慮レテ居リマス、併シナガラ色々
御聖蹟ノ傳説地、或ハ御聖蹟トシテ今日マ
デ調べ上ガラレテ居リマス後ニ、段々時
代ガ經ツニ從ツテ作意的ニ色々ナコトガ作
ラレタ、斯様ナコトハ調査ノ結果必ズ明瞭
ニナルコトト思ヒマス、左様ナ作意的ニ出
來テ來タモノハ、逐次廻ツテソレヲ惡イ作
意的ノモノトシテ、ソレヲ取消シテ行クト
云フ風ニシテ行クナラバ、或ハ其ノ方ガ害
モ少ク、後世ニ至ツテ段々ニ考證ヲ經ルニ從
ツテ誤リナク行クノデハナイカ、斯様ナ風
ニ考ヘテ十分慎重ニ、輕卒ナ決定ヲシナイ
コトハ固ヨリノコト、又只今御質問ノアリ
マシヤウニ、固ヨリ情實ニ依ツテ斯様ナ
コトヲ決定スルト云フコトハ、斷然排除シ
テ行キタイ、斯様ナ考デ居リマスノデ、御
諒承ヲ願ヒマス

ノデゴザイマス、茲ニ私ガ調査委員會ト申
上ゲルノハ、今文部省デ設立ニナリマシタ
神武天皇御聖蹟ノ委員會ノコトデハナイノ
デゴザイマス、文部省ガ法令ニ依ツテ定メ
ラレテ居リマス調査委員會、及ビ文部省ガ
御監督ニナツテ居リマスル地方ニ於ケル史
蹟名勝天然記念物ノ調査委員會ノコトニ付
テ、伺ヒタイノデアリマス、丁度昨年ノ議
會ノ初メ頃ニ問題ニナリマシタ奈良ノ公園
内ニアリマスル御聖蹟、及ビ史蹟ニ對シテ
道路ヲ新設スルト云フ問題ヲ、知事ノ方デ
企テラレタノデアリマス、之ニ對シマシテ
非常ニ史蹟保存家カラ反對ノ聲ガ起リ、一
度文部省デハ之ヲ御差止メニナツタノデア
リマス、其ノ場所ハ開化天皇ノ御宇ノ率川
宮ノ跡デアルト云フコトガ傳説トナツテ居
リマス、及ビ聖武天皇ノ御建立デアリマス
東大寺ノ境内デアリマスノデ、是等ヲ考ヘ
マシテ、聖蹟ト傳説トシテ今傳ヘラレテ居
リマスコト、又風致林トシテ風致保存ノ重
要ナ土地デアリマスコト、斯ウ云フヤウ
ナ關係デ非常ニ重要ナ場所デアリマス、此
處ニ道路ガ出來ルト云フノデアリマス、斯
ノ如キ場合ニ於テハ、調査委員會ニ諮問ヲ
爲サツタ上デ、現狀破壞ヲスルト云フコト
ガ今日マデノ慣例ニナツテ居リマス、然ル

ニ此問題ニ際シテハ、調査委員會ニ諮問ヲ
シテ居ラナイ、ソレデ委員會ノ人方ガ反對
シタ、其ノ聲ニ依ツテ文部省ハ一度其ノ工
事ノ進行ヲ御差止メニナツタ、所ガ昨年ノ
秋ニナツテ又之ヲ御許シナツタ、而モ之ヲ
差止メル時ニモ、御許シニナル時ニモ、其
ノ前ニ委員會ニ諮問ヲシテ居ラナイ、ソコ
デ伺ヒタイノハ、ア、云フ重大ナ現地ノ破
壞ヲスルノニ、委員會ノ諮問ヲ經ナクテヤ
ツテ宜イカドウカト云フ點ヲ、先ヅ御伺シ
タイノデアリマス

トシテノ奈良ノ土地ハ、一木一草ト雖モ出
來ルダケ慎重ニシタイ、此ノ二點ヲ十分ニ
研究ヲサセマシテ委員會ニ掛ケル以前ニ、
總テ事實ガ明瞭ニナリマシタ天然物ノ破壞
セザルヤウニ一木一草ヲ尊ビ、又原形ヲ出
來得ルダケ破壞セサルコトヲ條件トシテ、
已ムヲ得ザル施設トシテ之ヲ承認ヲシタノ
デアリマス、而シテ率川宮趾ノ傳説トシマ
シテハ、殊ニ慎重ニ之ヲ研究スル必要ガア
ルノデ、委員中ノ重要ナル方々ニハ悉ク諮
リマシテ、其ノ差支ナイコトヲ決定致シタ
ノデアリマス、特ニ委員會ニ掛ケル必要ヲ
認メナイノデ之ヲ許シテ、唯施行ニ際シテ
今ノ精神ヲ十分ニ酌シテ、自然ノ名勝ヲ破
壞セザルヤウニト云フダケヲ附加シテ、之
ヲ承認スルヤウナコトニナツタノデアリマ
ス、其ノ間可ナリ日子ヲモ費シタヤウナ次
第デアリマス

○松尾委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ、
ソレハ委員會ニ御諮リニナツテ居ラナイノ
デアルガ、ソレノ御相談ニ相成ツテ居ル
ト云フコトデゴザイマスカラ、私ハソレ
以上之ヲ追究シテ、彼此レ申上ゲルノデハ
ゴザイマセヌ、又既ニ決行爲サツテ居ルコ
トデスカラ、ソレヲ更ニ差止メルト云フヤ
ウナ紛糾ヲスルコトヲ望ムノデゴザイマセ

スカラ、一應其ノ御承認ニ對シマシテ、私ハ之ヲ承認シテ行キタイと思ヒマスガ、其ノ出來事ノ後ニ、勿論是ハ地方廳デヤツタコトと思ヒマスガ、文學博士足立康ト云フ人ヲ調査委員ヲ解職シテ居ル、是ハ私ハ餘リ良イ措置デハナイと思フ、此ノ人ハ史蹟名勝ノ保存ノ熱心家デアリマシテ、此ノ人ニ依ツテ啓發サレテ居ルコト多大ナモノガアル、獨リ地方民ノミナラズ、國家カラ言ツテモ實ニ立派ナ人デアアル、此ノ人ガ史蹟名勝保存ノ爲ニ熱心ニ主張シテ反對シタ、ソレガ當局ノ意見ト合ハヌカラ解職シタモノダラウト思フノデス、サウ云フコトハ甚ダ私ハ將來面白クナイと思フ、自分ノ方カラ任命シタ委員ガ、當局ノ意見ニ合ハヌカラ、其ノ委員ヲ解職スルト云フコトデアレバ、其ノ通りニ從ツテ行カナケレバ、總テノ意見ヲ吐ケナイヤウナコトガ起リ、或ル一種ノ制肘ヲ加ヘテ居ルト云フコトニナルと思フ、是ハドウ云フヤウナ経緯デアリマスガ、私ハソレヲ一ツ伺ヒタイ、本人ニ聞イテ見マス、解職ヲ非常ニ憤慨シテ居リマシテ、ソナナ辭令ハ受ケル義務ハナイと言ツテ突返シテアル、突返シタ儘ニ今日アルヤウデスガ、是ガ若シハツキリ突返シタ儘デ、辭令ハ出シタガ更ニソレヲ返スト云フ

コトデアレバ、又元ニ戻ツテ居ルノカモ知レマセヌ、戻ツテ居レバ委員トシテ存置サレルカラ宜シイノデスガ、ドウ云フヤウナコトニナツテ居リマスルカ、是ハ地方廳ノコトデアツテ、文部省ハ關知シナイト云フコトデアアルカモ知レマセヌガ、御監督ニナツテ居ラレマスルカラ、其ノ點ニ對スル御意見ヲ一ツ伺ツテ置キタイ

○荒木國務大臣 奈良縣ノ縣ノ史蹟調査ノ方ノ委員トシテ、足立博士ノ事件ガ縣ニ於テ解職セラレタト云フ話ハ聞イテ居リマス、恐ラクハ縣ニ於テモ十分ニ慎重審議シテ決行シタコトデアツテ、已ムヲ得ザルコトニ出タモノト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ以上ニマダ詳シイコトハ承知ヲ致シテ居リマセヌ

○松尾委員 御知りガナケレバドウカ御調査ヲ願ツテ、之ヲ成ベク穩當ニ納マリノ付クヤウニ、一ツ文部省ガ斡旋シテ解職ノヤウナコトノナイヤウニシテ、ヤハリ公職ノ爲ニ、學者トシテ所信ヲ徹底スル爲ニ、反對意見ガ強カツタノカモ知レマセヌカラ、サウ云フコトハ今後モアルコトカモ知レマセヌケレドモ、ソコデ若シ解職シテアツタモノナラバ復職スルヤウニ、マダ解職ニ至ツテ居ラヌモノナラバ、現状ノ儘デヤハリ

委員トシテ存置セラレルヤウニ、御斡旋ヲシテ下サルナヤウナ御意思ハアリマセヌカ、伺ツテ置キマス

○荒木國務大臣 事情ノ詳細ハ今申述ベタヤウニ、私ハマダ承知シテ居リマセヌガ、縣ノ方ニ於テハ既ニ何回カ足立博士ニ對シテ交渉モシ、又此ノ史蹟ノ意見ノ相違ニ對シテ十分ハ話合モシタヤウデアリマス、遂ニ其ノ議ガ合ハズシテ、縣デハ解職ヲ既ニ決定シタサウデアリマス、隨テ今後ノ問題ハ足立博士ノ縣トノ間ニ於ケル態度、又相互ノ話合ニ俟ツヨリ外ニ途ガナイカト考ヘテ居リマス、尙ホ御話ノ點モアリマスルカラ、御希望ノ點ヲ若シ出來得ルナラバ考ヘテ見タイと思ヒマス、只今ノ所ハサウ云フ風ニナツテ居リマス

○松尾委員 私ハ足立博士ト別ニ個人的關係ヲ持ツテ居ル譯デハゴザイマセヌ、私ハ私ト致シマステ所謂正義觀念カラ、サウ云フコトデ學者ガ自己ノ信念ノアル意見ヲ主張シテ、餘リ其ノ主張ガ徹底シ過ギテ當局ノ忌諱ニ觸レ、遂ニソレヲ解職スルト云フコトハ餘リニ不穩當ダと思フノデス、成ベク斯ウ云フ人ハ元ニ戻シテ戴キマシテ、又別ノ機會ニ解職スルトカ云フコトハ宜シイケレドモ、ドウカサウ云フヤウナ御處置ニ出

ラレマスルヤウニ、更ニ斡旋ヲシテ戴キマスコトヲ希望シテ置キマス

尙ホモウ一點御伺シテ置キマスガ、是ハ大阪朝日ノ四日ノ記事ニ出テ居リマシタノデ、極ク最近ノコトデアリマスガ、鐵道省ノ所管デアリマスル奈良「ホテル」ノ構内ニ、藤原時代ニ起源ヲ發シテ居リマスル日本庭園ノ模範的ナモノガアル、是ハ大乘院デアリマス、ソレハ松林デ相當ナ風致林ニナツテ居ル、其處ヲ今度奈良市ノ方カラ道路ヲ附ケテ來テ、ソレヲ打抜イテ行カウト云フノデアリマスガ、サウヤラレテシマフト折角ノ貴重ナ史蹟ガ無クナルト云フノデ、史蹟保存會ガ熱心ニ反對ヲシテ、最近當局ノ方ニ陳情ニ出テ來テ居ルト云フコトガ、新聞記事ニ出テ居ルノデゴザイマス、是ハ史蹟デナイヤウニ考ヘマス、史蹟デアレバ勿論其ノ保存會ノ諮問ニ掛ケルノデセウカラ、史蹟デナイと思ヒマスガ、是ハ史蹟デナクテモ、鐵道省ノ所管内デアリマシテ、鐵道省ガ許可シナケレバ此ノコトハ出來マセヌノデ、文部省トシテハ鐵道省ニ其ノ史蹟保存ノ必要ノアルト云フコトヲ御通告ニナリマシテ、斯ウ云フ史蹟ノ原狀破壊ノ行爲ヲ、斷乎トシテ一ツ止メテ戴キマスヤウナ御考ハアリマセヌカ、此ノ機會ニ承ツテ置キタイ

○荒木國務大臣 過般來大乘院ノコトハ耳

ニ致シテ居リマス、御話ノヤウニマダ史蹟トシテ指定モセラレテ居ラズ、將來ニ於テモ荒廢シテ居ルガ爲ニ、史蹟トシテノ指定ハ、事容易デナイト思ヒマス、併シナガラ

私自身ノ只今ノ所見トシテハ、サウ云フ由緒アルモノ、若クハサウ云フ景勝ノモノハ、出來ルダケ保存シタイ、破壊ハ何時デモ出來ルノデアリマスカラ、保存シタイト考ヘテ居

リマスケレドモ、今ノヤウナ地方發展トカ、或ハ地方ノ色々事情ニ即シテハ、其ノ點色々調和ヲ圖ラナケレバナラスト考ヘテ居リマ

スノデ、必ズシモ私ノ方ノ希望スルヤウニ、總テノモノヲ悉ク端カラ端マデ保存スルト云フコトハ、手ガ届キ兼ねルカト思ヒマス

ガ、併シ地方ニ於テモソレヲ保存スル必要ヲ認メラレ、又サウスルコトガ適當デアルト言フナラバ、吾々トシテハ出來ルダケ保

存ノ方ニハ、十分ニ力ヲ致シタイト考ヘテ居リマスカラ、御話ノ程ヲ能ク承リマシテ、更ニ現地等ニ對スルコトモ能ク承知ヲシマ

シテ、地方ニ於テソレヲ殘スコトガ可ナリトシテ色々ヤラレマスナラバ、ソレニ對シテ吾々モ亦出來ルダケ協力致シテ見タイト

思ヒマス

○松尾委員 大臣ハ史蹟保存ニ熱心ナル御

考ヲ持ツテ居ラレマスコトヲ拜聽致シマシテ、私ハ非常ニ感激致シテ居リマス、私ノ質問ハ是デ一應打切りマス

○板谷委員長 塚本重藏君ヨリ、厚生大臣ニ對スル質問ガ保留サレテアリマスカラ、此ノ際之ヲ許シマス

○塚本委員 私ハ此ノ際厚生大臣ニ一ノ質問ヲシテ見タイト思フノデアリマス、其ノ第一ハ總動員法第六條ニ基キマスル二三ノ勅令ガ發セラレルト云フコトヲ聞イテ居

ルノデアリマス、之ニ關シマシテ豫算總會ニ於テ屢、各委員カラ質問ガアリ、ソレニ對スル答辯ガ與ヘラレテ居ルノデアリマス

ガ、甚ダ遺憾ナコトニハ、豫算總會ニ於キマスル標準賃銀問題ニ關シマスル質疑應答ニ關シマシテハ、甚ダ間違ツク見解ガ國民

ニ與ヘラレテ居ルノデアリマシテ、私ノ非常ニ遺憾トスル所デアリマス、隨ヒマシテ此ノ機會ニ其ノ點ヲ明瞭ニシテ戴キタイト

考ヘルノデアリマス、一月二十六日ノ豫算總會ニ於キマシテ、小笠原氏ガ質問致シマシタ、ソレニ對シテ厚生大臣ハ、賃銀制ノ

確立ハ必要デアアル、總動員法第六條ニ基キ、賃銀ノ規制ヲ行ヒ、不當ニ賃銀ノ騰貴スルノヲ抑ヘル積リデアルト、斯ウ御答ニナツ

テ居リマス、サウ云フ御答ガ新聞紙上ニ傳

ヘラレル時ニ於キマシテハ、賃銀ノ騰貴ヲ抑制スト云フヤウナ大キナ見出しデ報道セラレテ居ルノデアリマス、是バカリデハナク兩三回サウ云フ意味ノ報道ガ致サレマシ

タコトカラ致シマシテ、一般労働大衆ハ非常ニ心配ヲ致シテ居リマス、斯ウ云フ記事ガ三段拔ヤ四段拔ノ記事デ傳ヘラレマシタ

コトノ爲ニ、吾々ノ今日ノ賃銀ガ是レ以上引下ゲラレルノデハナカラウカト云フ心配ヲ持ツテ居ルノデアリマス、私ハ今日労働

者ノ工場生活ノ實情ニ付テハ、茲ニコマルト繰返シテ申上ゲマセス、收入ノ點、賃銀ノ點等ニ付キマシテモ、大藏大臣トモ執

拗イ程話ヲシテ來タノデアリマスカラ、厚生大臣ニ又ソレヲ繰返シテ申上ゲヨウトハ

致シマセスガ、成程一部ノ労働者ノ中ニ時局ニ影響ヲ受ケテ、其ノ賃銀ガ騰貴シタモノガアルコトハ事實デアリマス、ケレドモ、

全體的ニ見マスルト、今度ノ事變ニ依ツテ、一般ニ労働者ノ實收入云トフモノハ殖エテ居ラナイト云フコトガ、政府當局ノ與ヘラ

レマシタ資料ニ依ツテ、十分ニ窺ヒ知ルコトガ出來、明瞭ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ私ハ詳シクハ申上ゲマセヌケレドモ、

商工省ガ出シマシタ資料ガ、ソレヲ明ニ物語ツテ居ルノデアリマス、是ハ今度ノ事變

ニ於キマシテハ是マデノヤウナ戰爭ノ時ト違ヒマシテ、労働者ノ體位ノ向上ト云フコトガ非常ニ重要ニ取扱ハレマシテ、過重ナ労働ハ避ケテ行クト云フヤウナコト、ソレ

カラ又不熟練労働者ガ澤山入ツテ來ルト云フヤウナコト等カラ致シマシテ、一般労働者ノ賃銀ト云フモノハサウ騰貴シテ居リマ

セヌ、世間ノ人ガ想像スルガ如ク、認識スルガ如ク騰貴ハ致シテ居リマセヌ、又今日日本ノ產業界ガ、非常ニ跛行的デアルト云フコトモ言ハレテ居リマスガ、労働者ノ賃銀ニ付

キマシテモ、一部サウ云フ跛行的ナ現象ガアリマシテ、一部ノモノガ非常ニ收入ガ増シテ居ルト云フコトハ、偶、一般労働者ノ賃收

入ガ増シテ居ルト見ラレテ居ルガ如クデアリマスケレドモ、サウデハナイノデアリマス、而モ賃銀ノ騰貴ニ較ベマスルト、縱シ賃銀ガ騰貴

スルト致シマシテモ、其ノ騰貴ニ對應致シマシテ、物價ノ騰貴ハ更ニ一段ト飛躍的ナ騰貴ヲ致シテ居リマス、サウ云フヤウナコ

トカラ考ヘマス、労働者ノ生活ハ決シテ樂ニナツテ居ラナイノデアリマス、斯ウ云フ機會ニ於テ更ニ總動員法ノ發動ニ基イテ、

労働者ノ賃銀ガ引下ゲラレルト云フヤウナコトデアリマスナラバ、労働者ガ心配ラスルノハ是ハ當然ノコトト思フノデアリマス、

私ノ考ニ依リマス、勿論厚生大臣ガ言ハレマシタ如ク、賃銀ノ不當ナル騰貴ハ是ハ物價抑制ノ爲ニモ、亦輸出貿易ノ振興ノ爲ニモ、當然サウ云フ處置ヲ執ラナケレバナラナイコトハ是認シマスケレドモ、總動員法ノ發動ニ關スル限リニ於キマシテハ、此ノ賃銀制度ト云フモノハ、労働者ノ爭奪防止ガ實施セラレタ曉ニハ、必然ニ労働賃銀ノ騰貴ガ其ノコトニ依ツテ抑ヘラレルト思フノデアリマス、又低廉ナ賃銀ヲ受ケテ居リマス労働者モ、労働者ノ移動ノ自由ガ禁ジラレルノデアリマスカラ、一般的ニハ漸次ニ労働條件ガ低下シテ來ルト云フコトガ憂慮サレルノデアリマス、又労働時間ノ制限ガ實施セラレマス關係等ニ依リマシテ、實質ノ賃銀モ漸次低下シテ來ルノダ、斯ウ云フ風ニ想像セラレマス、隨ヒマシテ總動員法ニ基イテ規制セラレル標準賃銀制ニ於テハ、賃銀ノ騰貴ヲ抑制スル爲デハナクシテ、寧ロ是レハ總動員法ノ適用ニ依ツテ起ルベキ労働條件ノ低下ヲ防ギ、労働者ヲ保護スル目的ニ賃銀制ト云フモノガ發動セラレルノダト私ハ考ヘテ居リマス、私ノ此ノ解釋ニ相違ガアリマセヌナラバ、此ノ際曩ニ新聞記事等ニ依ツテ誤解セラレテ居リマスル所ヲ一掃シ、労働大衆ガ安心ガ出來ル

ヤウ、即チ賃銀騰貴ノ抑制ノ爲ノ標準賃銀制デハナクシテ、労働條件ノ低下ヲ防止スル爲ノ標準賃銀制ト云フ意味ヲ、茲ニ明ニシテ戴キタイト考ヘルノデアリマス

○廣瀨國務大臣 只今ノ御質問ニ御答致シマスガ、總動員法ノ賃銀ニ關スル統制ト云フモノハ、此ノ前豫算總會ノ際ニ御答致シマシタヤウニ、不當ナ賃銀ヲ抑ヘル、又不當ニ安イ賃銀ハ之ヲ上ゲテヤラナケレバナラス、即チ賃銀ニ關シテハ其ノ正常性ヲ維持スル、公正妥當ナル賃銀ヲ維持スル、斯ウ云フ意味デアリマス、決シテ是ハ労働者ニ對シテ壓迫ヲ加ヘルト云フヤウナ性質ノモノデハナイ、本來總動員法ト云フモノハ、申スマデモナク國家ノ爲ニ必要ナル法トシテ、國家産業ノ爲ニ必要ナ——即チシレハヤハリ有ユル見地カラ見テ國家ノ爲ニ必要デアツテ、労働者ノミヲ抑ヘル、或ハ労働者ノミヲ保護スル、斯ウ云フ意味デハ私ハナイモノダト思フ、ソコデ今御話ノヤウニ、今日労働者ノ移動制限ヲスル、サウスルト労働條件ガ惡クナル虞ガアル、サウ云フ場合ニ保護スル、是ハ勿論保護シテヤラナケレバナラス、其ノ意味モ無論アル、併シナガラ其ノ意味ノミデアルト云フコトニ、此ノ賃銀統制ヲ解釋ショウト云フノハ

私ハ無理ダト思フ、ヤハリ是ハ何處マデモ賃銀ヲ公正妥當ニ維持スルノダ、労働條件ノ極端ナル低下、間違ツタ低下ハ無論保護シテヤラナケレバナラスケレドモ、又他面ニ於テ不當ナル賃銀ノ騰貴ハ、生産力擴充又軍需ノ充足、國家ノ必要ト云フ見地カラ見テ、是ハ無論抑ヘナケレバナラス、又兩方ノ意味ガアル、一方ノミデハナイ、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○塚本委員 御説ハ洵ニ御尤デアリマスガ、少クトモ總動員法ニ關スル限リニ於テハ、労働者ノ爭奪防止ノ勅令、或ハ時間制ニ關スル勅令、斯ウ云フモノノ發動上、結果ニ於テハ必然ニ労働條件ガ低下シテ行クト云フ傾向ニアルコトハ御認ニナルト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○廣瀨國務大臣 労働者ノ移動制限ヲヤル、サウスレバ必然ニ労働條件ガ惡クナルダラウ、斯ウ云フヤウナ御考デアリマスガ、ソレハ一應サウ云フヤウニ御考ヘニナルノモ御尤デアリマス、併シナガラ移動制限ヲヤルト申シマシテモ、是ハヤハリ運用其ノ宜シキヲ制セナケレバナラスト思フノデアリマス、隨ヒマシテ不當ナル移動ノ制限ハヤル積リハアリマセヌ、ヤハリ運用ニ付テハ十分ナ注意ヲシテ、サウシテ運用上ニ誤

リナイヤウニ致シマスレバ、私ハ賃銀其ノ他ノ労働條件ガ、移動制限ノ爲ニ非常ニ低下スルト云フヤウナコトハナイモノ、又サウ云フコトハアラセテハナラスノデハナイカト思フ、ヤハリ移動制限ト云フコトハ、生産力擴充ト云フコトノ見地カラ見テ、職工ガソツチ、コツチニ動イテハ生産力擴充ガ出來ナイノダ、十分軍需ヲ充タスコトガ出來ナイノダ、國家ノ必要ニ應ズルコトガ出來ナイノダ、サウ云フ見地カラヤルノデアリマスカラ、是ハ餘程注意シテ、労働條件ガ不當ニ下ルト云フコトガナイヤウニ、其ノ運用ヲ宜シクシナケレバナラスト思フノデアリマス、御話ノヤウナコトガアツテハナラスト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ必ズ必然的ニ労働條件ガ惡クナル性質ノモノダトハ、私ハ思ヒマセヌ

○塚本委員 労働者ノ爭奪防止ニ關シマシテモ、手心宜シキヲ得タイト云フ御意思ノヤウデアリマスカラ、其ノ點ハ大イニ安心ガ出來ルト思ヒマス、今マデ吾々ノ感じテ居タ曉ニ於テハ、全ク此ノ移動ノ自由ガ禁止セラレデシマフモノダト云フ風ニ、解釋シテ居ツタノデアリマスガ、サウデハナイト云フコトデ、幾ラカノ安心ヲ得ルコトガ出

來タノデアリマス、更ニ此ノ機會ニ政府ガ決メラレヨウトスル所ノ標準賃銀ヲ定メル其ノ基準デアリマスガ、之ニ付テ何カ今考ヘテ居ラレマス御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○廣瀨國務大臣 總動員法ノ賃銀統制ニ依リマシテ、賃銀ノ一部ハ決メル積リデ居リマス、ソレハ小學校ノ卒業生ヲ新ニ工場デ採用スル場合ノ、詰リ職工ノ初任賃銀ニ付テハ、標準的ナモノヲ大體決メヨウ、斯ウ思ツテ居リマス、之ニ付テソナラドウシテ決メルノダ、決メル指針トデモ申シマスカ、ソレハドウダト云フ御質問ノヤウデアリマスガ、是ハ從來ノ賃銀ニ關スル統計ト云フヤウナモノモ參考ニシナケレバナラス、又生計費トカ物價ト云フヤウナモノモ參考ニシナケレバナラス、是等ヲ參考ニシマシテ、從來ノ實績其ノ他ニ依ツテ、中央ニ於テハ中央ノ賃銀統制ノ委員會ニ之ヲ諮問シマシテ、其ノ諮問ヲ經マシタ上デ、大體妥當デアルト云フ所ニ目安付ケテ決メヨウ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス

○塚本委員 サウ云フ風ニシテ標準賃銀ガ定メラレトシマシテ、果シテ公正妥當ナル標準賃銀ガ生レテ來ルカドウカト云フコトニ付テモ、尙ホ多少ノ心配ガアルノデア

リマスケレドモ、是ハ併シ今此處デ決メル譯ニモ行カズ、ソレノ各機關ノ議ヲ經テ決定セラレルモノト思ヒマスカラ、ソレニ讓ルト致シマシテ單ナル標準賃銀ト云フヤウナコトデアリマシテハ、ソレニ對スル違反者ガアツタト致シマシテモ、之ヲ嚴罰ニ處スルト云フヤウナコトハ、ドウシテモ出來ナイト思フノデアリマス、サウ云フ「ルーズ」ナモノデハ、結局標準賃銀ヲ決メタ所ノ意義ガ無クナリハシナイカ、標準賃銀制ヲ設ケタ所期ノ效果ヲ舉ゲルコトガ出來ナイヤウナ結果ニナリハシナイカト思フノデアリマスガ、折角決メラレル所ノ標準賃銀ト云フモノガ、相當嚴格ニ行ハレルヤウナコトニ付テ、何カノ御考ハアリマセヌデセウカ

○廣瀨國務大臣 ソレハ標準賃銀ヲ先ツ決メテヤル、ソレニ基イテ各工場ガ雇入レハスル場合ノ賃銀ヲ決メル、大體私ハヤハリ工場間ニ於テモ、政府デサウ云フモノヲ決メテ指導シマスレバ、ソレヲ守ルモノト思ヒマス、是ハ行政上ノ指導、行政上ノ力デ大體ハ行ケルモノダト思フ、唯ドウシテモソレヲ聽カナイ、サウシテ非常ニ突飛ナ賃銀ヲヤルト云フヤウナ場合ニハ、命令ヲ出シテ變更ヲ命ジナケレバナライ、其ノ場

合ニハ總動員法ニ依ル處罰方法ガアルモノト思ツテ居リマス、隨ヒマシテ非常ナ極端ノヤウナコトガ、實際行ハレル場合ニ於テハ制裁ガアル、ソレカラ又大體ハ行政上ノ指導行ツテ行ケル、斯ウ私共ハ考ヘテ居リマス

○塚本委員 曩ニ標準賃銀ヲ決メルコトニ付キマシテ、學校ヲ出マシタ少年労働者等ニ付テノ、初給賃銀ヲ決定スルト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、是ハ唯小學校ヲ出タヤウナ少年労働者ダケニ限ツテ、サウ云フコトガ行ハレルノデアリマセウカ、一般不熟練労働者ノ最初ノ採用ニ當リマシテモ、サウ云フ初任給ト云フヤウナモノガ決メラレルノデアリマセウカ

○成田政府委員 便宜私カラ御答申上ゲマス、只今御尋ノ初任給ノ問題デゴザイマスガ、小學校或ハ中學校ヲ出タ者ダケデアリマセヌノデ、大體未熟練労働者、素人工ノ初任給ヲ決メテ行キタイト、私共トシテハ考ヘテ居リマス、唯ソレニハ自ラ限度ゴザイマスノデ、三十、四十、五十ニナツテ入ツテ來ルト云フヤウナ者ハ數モ少ウゴザイマスシ、之ニ付テ初給賃銀ヲ決メルト云フコトハ、實際上ノ困難モ伴ヒマスカラ、只今私共ノ事務的ノ腹案トシテ考ヘテ居リ

マス所デハ、二十歳以下ノ未經驗労働者ガ雇入レラレタ場合ニ於ケル初任給ヲ決メテ行キタイ、大體二十歳以下ノ人達ヲ「カパー」スルコトニ依ツテ、當分ノ目的ハ達セラレルノデハナイカ、差當リハ二十歳以下ノ者ニ付キマシテ、更ニ差當リハ男ノ職工ニ付テ決メテ行ク、是ガ先ヅ最初ニヤラナケレバナラスモノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○塚本委員 今ノ御話ニ依リマス、小學校、中學校ヲ出タ者ノ初任給、或ハ二十歳以下、ソレモ主トシテ男子ノ未熟練労働者ノ初任給ヲ決定スルノデアル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、其ノ少年、青年ト云フコトト關聯シマシテ、モウ一ツ伺ツテ置キタイノハ、政府ハ國民登錄ヲ實施セラレルニ當リマシテ、五十歳以下ノ者ヲ登錄セラレタノデアリマスガ、私ハ何故モウ少シ五十歳ヲ五十五歳位マデ、セメテ上ゲラレナカツタノデアラウカト、眞ニ思ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ今大體少年工、二十歳前後ノ青年工、サウ云フモノヲ規定スルコトニ依ツテ、目的ガ達セラレルノデハナカラウカト云フ御考ノ中ニモ、私ハドウモ今ノ一般産業界ニ於キマシテ、労働者ヲ採用スル場合ノ考ヘ方ト云フモノガ、非常ニ贅

澤ニ流レテ居ルノデハナイカト思ヒマス、
今技術工ガ不足デアルト云フコトガ世間ニ
傳ヘラレテ居リマス、又實際工場ニ於テモ
サウデアリマス、熟練工ノ不足ニハ悩ンデ
居ルノデアリマス、然ラバ熟練工ガ本當ニ
不足シテ居ルノカト言ヒマス、マダ、
世間ニハ多クノ優秀ナル技術ヲ持ツテ、而
モ失業ノ巷ニ彷徨シテ居ル者ノ澤山アルコ
トヲ、看逃シテハナラナイノデアリマス、今日
新聞紙上ニ毎日労働者ノ募集廣告ガ出テ居
リマスガ、ソレヲ具サニ御覽ニナツテモ分リマ
スヤウニ、採用ニ付テノ條件ハ、大體三十歳
マデアル、偶、三十五歳マデヲ採用スルト云
フヤウナ記事ヲ見ルノデアリマスガ、實際私
共ガ人ヲ世話スル場合ニ於テモ、三十五歳
ヲ過ギテハ、殆ド是ハ就職ノ途ナシト云フ
ヤウナ今日ノ現状ニ置カレテ居リマス、而
モサウ云フ人ノ中ニ相當優秀ナル技術ヲ持
テナガラ、三十歳、三十五歳ヲ過ギテ居ル
ト云フ爲ニ使ハレナイデ、自分ガ子供ノ時
分カラ習得シマシタ技術ヲ、可惜活用スル
コトガ出来ナイデ、失業ノ巷ニ彷徨シテ居
ル者ガアルノデアリマス、是ハ職業紹介所
ノ機關ヲ通ジマシテ、モット嚴格ニヤラレ、
是等ノ國民登録ニ付テ、職業紹介機關ヲ通
シマシテ、モット人的資源ト云フモノガ、

有效ニ使ハレルヤウニ仕向ケテ行カナケレ
バナラスト思フノデアリマスガ、兎モ角今
日尙ホ三十歳過ギ三十五歳過ギテ、經驗ヲ持
テナガラ而モ其ノ仕事ニ携ハルコトガ出来
ナイ者ガ相當アルノデアリマス、ソレニモ
拘ラズ、各工場ニ於テハ、サウ云フ人ヲ採
用シヨウトシナイデ、田舎カラ出テ來タ若
イ人達、或ハ學校ヲ出タ若イ人達、ヲ競ッ
テ採用スルト云フコトニナツテ居リマシテ、
人的資源ノ利用ノ點ニ於テ、非常ナ無駄ガ
アルト思ヒマス、マダ、技術工ニ不足ラ
來シテ居ルト言ヒナガラ、サウ云フ贅澤ナ
職工ノ採用ノ仕方デアリマス、是ハ私ハ人
的資源ノ上カラ見マシテモ、今日ノ國家非
常時ノ場合ニ於キマシテ、殊ニ熟練工ノ不
足ノ懸ヘラレテ居ル時ニ、此ノ巷ノ現状ヲ
見テ、甚ダ遺憾ニ堪ヘナイト存ジテ居リマ
ス、是ハ前申シマス職業紹介機關、或ハ國
民登録ノ兩者相俟ツテ——技術者ハ三十五
歳過ギ、更ニ四十、五十ニナツテモ十分働
ケルノデアアル、サウ云フ働キノアル、能力
アル、更ニ意思ノアル者ヲ遊バシテ置キ、
有效ナ所ニ使フコトガ出来ナイヤウナ状態
ニ在ルノヲ、之ヲ何トカ是正スルコトニ付
テノ御所見ハ如何デアリマセウカ、此ノ際
伺ツテ置キタイノデアリマス

○廣瀨國務大臣 國民登録ノ年齢ヲ五十歳
ニシマシタノハ、此ノ國民登録ノ制度ト云
フモノハ、非常ニ新シイ制度デアリマシテ、
中々困難ナ點モアリマス、ソレカラ數ガ中
々多イノデ、五十歳ト云フコトニシテモ、
五百万人近クノ者ガ登録スル譯デアリマス、
將來ハ五十歳以上ノ者ニモ行フカモ知レマ
セヌガ、今ノ所デハ是デヤラウト云フコト
ニナツテ居リマス、併シ御説ノヤウナ點ニ
付テ、私共モ洵ニ同様ニ存ジテ居リマス、
マダ、働ケル年齢デアリナガラ、ソレガ
使ハレナイト云フモノガ、從來屢アリマシ
タコトヲ、私共モ非常ニ残念ニ思ヒマス、
之ニ付キマシテハ、軍關係ノ工場ナドニ於
テハ非常ニ嚴重ニ考ヘテ、若イ人デナケ
レバ採ラスト云フ態度デアツタノデアリマ
スガ、是ハ最近非常ニ緩和シテ貰ヒマシテ、
相當ノ年齢ノ者デモ、初任ニ使フト云フヤ
ウナコトニ段々ナリツツアリマスシ、私共
ノ方デハ此ノ點ハ十分指導シマシテ、力ノ
アル者ハ國家ニ御奉公シテ貰フト云フコト
ニ、骨折ル積リデ居リマス

○塚本委員 政府ハ此ノ機會ニ、國立職業
紹介ノ機關ヲ、モット有機的ニ強力ニ働カ
シテ、工場會社等ニ於テ人ヲ雇入レル場合
ニハ、必ズ此ノ國立ノ職業紹介機關ヲ通ジ
テデナケレバ、一切雇入レルコトガ出来ナ
イヤウニスルコトハ出来ナイモノデアリマ
セウカ、サウスレバ前ニ申上ゲマシタヤウ
ナ三十歳ヲ過ギ、三十五歳ヲ過ギタ者デア
ツテモ、斯ウ云フ人ガアルカラ、オ前ノ所
デハサウ贅澤ヲ言ハナイデ使ヘト云フ風ニ
シテ、ソレヲ總テニ使ハセルト云フコトモ、
可能デアルト思フノデアリマスガ、サウ云
フ方法ハ御執リニナレナイノデアリマセウ
カ

○廣瀨國務大臣 國立ノ職業紹介所ヲ通ジ
テデナケレバ、人ヲ雇入レテハナラスト云
フコトマデ、極端ニ今ヤルコトハ如何ト思
ヒマス、ヤハリ從來ノ事情モアリマス、長
イ間ノ職工ノ雇入ニ關スル事情モアリマス
カラ、急激ニサウ云フコトニ致スノハ無理
デハナイカ、唯職工ノ募集ニシテモ、或ハ
職工ノ供給事業ニシテモ、皆取締規則ヲ設
ケテ、ヤハリ相當ノ取締ヲ致シマスカラ、
其ノ方面カラモ段々ニ職業紹介所ニ頼ルト
云フ形ガ、從來ヨリモ多クナツテ來タ、ソ
レヲ最近國立ノ職業紹介所ニ致シマシタカ
ラ、尙ホ其ノ點ハ非常ニ宜クナツテ來タ、併
シ又御承知ノヤウニ國立ニ致シマシテモ、
實ハ昨年ノ議會デ國立ノ法律ガ通り、完成
シタノハマダ昨年ノ暮ト云フヤウナコトデ

アリマスカラ、マダ／＼十分ニ能率ヲ發揮スル上ニ於テ思フヤウニ參ツテ居リマセヌガ、國立ノ職業紹介所ヲ設ケテ趣旨ハ、出來得ル限り國立ノ職業紹介所ヲ利用サセルコトガ、勞働者ノ爲デモアルシ、工場ノ爲デモアル、斯ウ思ヒマスカラ、此ノ方面ニ對シテハ一段ノ努力ヲ拂フ積リデアリマス

○塚本委員 是ハ是非努メテサウ云フ方向ニ進メテ戴キタイト思ヒマス、サウシマスカラバ、今遊ンデ居リマスル人的資源ヲ、モット有效ニ働カセルコトガ出來ルト思フノデアリマス、ソレカラ今一ツハ、前ニ少年勞働者——小學校、中學校ヲ卒業シタ者ノ初任給、或ハ二十歳以下ノ未熟練勞働者ノ初任給等ニ付テハ、決メル御意思ノヤウデアリマスカ、私ハモット廣イ意味ニ於テノ最低賃銀ヲ決メル必要ガアルノデハナカラウカト思フ、或ハサウ云フ風ニ決メラレルトコトガ、勢ヒ最低賃銀制ニ發展シテ行クノダト云フ御考デ、オヤリニナルノカモ知レマセヌガ、モウ少シ廣イ範圍ニ於テ最低賃銀制度ヲ確立スルコトガ必要デハナカラウカ、一般的標準賃銀ダケデハ、ドウモ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデハナカト考ヘマス、ソレト合シマシテ、此ノ標準賃銀ガ決メラレマス、一方ニ少年工ヤ

二十歳以下ノ青年工、サウ云フ者ノ初級賃銀ガアリ、一方ニ職業ニ應ジ、地方ノ實情ニ應ジテ標準賃銀ガ決メラレルト云フコトニナルト、其ノ標準賃銀ト云フモノハ、結局最高賃銀ト云フヤウナモノニ化シテシマフ惧レガ多分ニアルノデアリマス、即チ一方ニ少年工ヤ青年工ノ初任給ガ決メラレテ居リ、一方ニ標準賃銀ガアルト、其ノ少年工ヤ未熟練工ガ採用セラレマスル場合ノ初任給ガ最低賃銀化シ、一方ノ標準賃銀制ト云フモノガ、最高賃銀制ト云フヤウナ形ニ自然ニ陷ツテ行クト、私ハ見ルノデアリマスカ、此ノ見方ニ付テハ如何デアリマスカ

○成田政府委員 私カラ御答申上ゲマス、御話ノアリマシタヤウニ、二十歳以下ノ殊ニ學校ヲ出タテノ者ノ初任給ニ付キマシテハ、實際色々調ベテ參リマス、大體ノ見當ガ付クノデアリマシテ、最高最低ト云ツタヤウナモノガ、割合ニ簡單ニ實際上出テ來ルヤウニ私共考ヘテ居リマス、之ニ付テハ初任給トシテ最高最低幾ラト云フ、或ル程度ノ幅ヲ持ツタモノヲ決メルコトガ出來ルト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ初任給ノ場合デナク一般ノ熟練工ニナリマスルト、地方或ハ地域ニ依ツテモ違ヒマスカ、或ハ職業ノ種類ニ依ツテモ違ヒマス、年齢ニ依

リ或ハ或動續年數ニ依リ、又技能ノ程度ニ依ツテ色々アリマシテ、洵ニ千差萬別デアリマスカラ、統計ヲ取りマシテモ、ソレニ依ツテソコニ直チニ御話ノ如キ賃銀ガ、容易ニ生レ出ルト云フコトハ、今直グノ問題トシテハ中々考ヘラレ得ナイノデアリマス、勿論ソレ等ノ問題ニ付キマシテ色々資料ハ集メテ居リマス、又今後モ正確ナモノヲ段々拵ヘテ參ラナケレバナリマセヌガ、直チニ標準賃銀ト云フ物差ガ出來テ、ソレニ直チニ從ツテ、是ヨリ上ハドウデアル、或ハ是ヨリ下ハ惡イ、或ハソレガ最低ニナリ、最高ニナルト云ツタヤウナ、非常ニ正確ナ尺度ヲ作ルコトハ、實際問題トシテ今直チニハ困難デハナカラウカ、斯ウ云フ考カラ致シマシテ、先程大臣カラモ御答ヲ申上ゲマシタヤウニ、熟練工ノ賃銀ノ統制ニ付マシテハ、著シク不當ナモノ、即チ著シク高イ、著シク低イト云フモノニ對シマシテ、賃銀委員會ノ意見ヲ聽イテ、之ニ對スル適當ナ變更命令ヲ出スト云フコトニシテ、サウ云フコトガ段々ニ重ナリ、又段々ニ賃銀統制ノ仕事ガ慣レテ參リマスト、ソコニ自ラ熟練工ノ標準賃銀ト云フヤウナモノガ、妥當公正ナモノトシテ生レテ來ルノデアラウ、サウ云フ風ニハ考ヘテ居

リマスカ、只今直チニ熟練工ノ標準賃銀ト云フモノヲ拵ヘテ、ソレデ直グ規制スルト云フ所マデニハ參ツテ居リマセヌ

○板谷委員長 塚本君ニ御相談申上ゲマス、大體午前中ニ質問ヲ終了シタイト云フ申合セヲシテアルノデアリマスカ、マダ山崎君ガ一人殘ツテ居ラレマス、ソレニ此ノ委員會ハ是デ終了スルト云フ譯デハナク、又適當ナ機會モアルト思ヒマスノデ、簡單ニ御願致シタイト思ヒマス

○塚本委員 其ノ意味ヲ體シマシテ、簡單ナ質問ヲ續ケテ行キタイト思ヒマス

今直チニ標準賃銀ヲ決メル意思ハナイト言ハレタノデスカ、是ハ何カ賃銀統制ヲ御發動ニナル準備ガ既ニ出來テ居ルノニ、直チニソレヲアル意思ハナイノダト思ハレルコトハ、ドウモ私ニハ諒解ガ出來ナイノデ、其ノ點ヲモウ少シ明ニシテ置キタイト思ヒマス、簡單ニト云フコトデアリマスカラ、要點ヲ申上ゲマス、私ハ是ハ國民登錄、技術登錄ト相俟ツテ考ヘテ戴キタイ、地方的ニ或ハ職業的ニ一ツノ標準賃銀ヲ設ケルノデナシニ、技術登錄ト相俟ツテ標準賃銀ニ等級ヲ設ケル、今御話ニナツタヤウナ年齢トカ技術ノ程度、職業等ニ應ジテ、之ニ該當スル者ハ之ヲ標準賃銀トスル、此ノ程度

ノ者ハ是ガ標準賃銀デアルト云フヤウニ、標準賃銀ハ等差ヲ設ケテ、細カク決メテ行カレルコトガ、標準賃銀ヲ設定スル上ニ於テハ必要デナカラウカ、唯單ニ之ヲ地方的ニ、職業的ニ一ツ／＼ノ標準賃銀ヲ設ケテ置クト云フコトデハ、ドウモ標準賃銀ト云フモノハ最高賃銀化シテシマヒマシテ、勞働條件ノ低下ニナルト云フ心配ガ多分ニアルノデアリマス、是レ亦今直チニ實行ハ困難カト思ヒマスガ、漸次政府ガ國民登錄、技術登錄ト相俟チマシテ、標準賃銀ヲ細カク刻シテ行ツテ、公正妥當ナル賃銀ヲ設定スルト云フ方針ニ向ハレデハ如何カト思ヒマスガ、ソレハ如何デスカ

○成田政府委員 先程私ノ御答ノシヨウガ不十分デアツタノデアリマスガ、標準賃銀ガ非常ニ困難デアレナイト云フ風ニ或ハ響イタカモ知レマセヌガ、其ノ點ハサウ云フ意味デハアリマセヌ、今モ御話ガアリマスヤウニ、困難デハアリマスケレドモ、段々ソレニ向ツテ進行シテ行ク、其ノ目標ニ向ツテ努力スルト云フ意味合デアリマスカラ、其ノ點ハ御諒承願ヒマス

○塚本委員 賃銀問題ニ付キマシテ、モウ一ツ御伺シテ置キタイノハ、此ノ賃銀統制ノ適用セラレマスル範圍デアリマス、豫

算分科會ニ於キマシテ、不振産業ニ付テハ適用シナイト云フコトガ言明セラレテ居リマスガ、賃銀統制ノ要綱ヲ見マスルト、工場法ノ適用ヲ受クル工場ニシテ厚生大臣ノ指定スル事業、或ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル事業、其ノ他厚生大臣ノ指定スル事業トナツテ居リマスガ、厚生大臣ハドノ範圍ニ之ヲ指定シ、適用ヲセラルルト考ヘテ居ラレマスカ

○廣瀬國務大臣 今ノ所ノ考デハ、ヤハリ金屬工業デアルトカ、機械工業デアルトカ云フヤウナ、所謂軍需關係ノ工業、斯ウ云フヤウナモノヲ考ヘテ居リマス、マア將來ノコトハ研究ノ上、ドウナルカ今ノ所分リマセヌガ、今ノ所ハ斯ウ云フモノヲ考ヘテ居リマス

○塚本委員 ソレデハ賃銀ノ問題ハ此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、次ニ私ハ赤字公債ト最モ密接ナ問題ト致シマシテ、一ツ考ヘテ居ル事ガアリマスノデ、此ノ點ヲ申上ゲテ御所見ヲ質シテ置キタイト思フノデアリマスガ、御承知ノヤウニ、先年議會ヲ通過致シマシテ労働者退職積立金制度ト云フモノガ出來マシテ、ソレノ労働者、事業主、其ノ法規ニ基イテ積立金ヲシテ居ルノデアリマスガ、是ハ今日相當ナ額ニ上ツテ居ル

ト思ヒマスガ、大體ドレ位ノ額ニ上ツテ居ルカ、御調ガ付イテ居リマスカ、御知ラセ戴キタイ

○成田政府委員 只今ノ御質問ハ金額ノ問題デゴザイマスノデ、私カラ申上ゲルコトニ致シマス、退職積立金及ビ退職手當法ニ依リマスル色々ナ積立金ノ昭和十二年中ニ於ケル積立總額ハ、三千六百三十三萬餘圓ニナツテ居リマス、其ノ内譯ハ労働者ノ積立テマシタ退職積立金ガ一千二百十八萬餘圓、ソレカラ事業主ガ積立テマシタ退職手當積立金及ビ準備積立金ハ、二千四百四十萬餘圓ニナツテ居リマシテ、之ヲ合セマスト三千六百三十三萬餘圓、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス

○塚本委員 モウ一ツ御伺致シタイノハ、時局ニ應ジマシテ各工場會社等ニ於キマシテ、工場貯金ト申シマスカ、時局貯金ト申シマスカ、愛國貯金ト申シマスカ、サウ云フモノガ相當範圍ニ力強ク行ハレテ居リマスガ、是等ノ工場貯金ト申シマスカ、サウ云フモノニ付テノ總額ヲ御調ニナツタコトガアリマスカ

○成田政府委員 御答申上ゲマス、只今御尋ノ工場労働者ノ貯金額ニ付キマシテ、昨年ノ十月一日現在デ調べマシタ結果ハ、總

額九千六百萬圓ニナツテ居リマス、之ヲ國民貯蓄獎勵運動ガ起リマシタ以前、昨年ノ六月現在ノ七千四百萬圓ニ比較致シマス、此ノ間ニ約二千二百萬圓ノ増加、斯ウ云フ數字ガ現ハレテ居リマス

○塚本委員 ソコデ私ハ公債消化ノ一ツノ方法トモシ、是等巨額ニ上ツテ居リマスル退職積立金、或ハ工場ニ於ケル國民貯金、斯ウ云フヤウナモノノ運用ニ付テ、厚生省ハ一ツ御考ヲ願ツタラドウカト思フノデアリマス、私ノ考ヲ申シマス、是等ノ退職積立金デアルトカ、或ハ國民貯金デアルトカ云フヤウナモノヲ一括致シマシテ、別ニ管理スル機關ヲ設ケマシテ、勿論労働者ノ貯金デアリマスカラ、名義ハ其ノ儘ニシテ置キマシテ、唯此ノ金ヲ出來ルダケ労働階級ノ福利増進ノ爲ニ、色々ナ施設ヲ行ツテ行クト云フヤウナ風ニ、之ヲ有效ニ使フト云フコトニ付テ、今後一ツ御考ガ願ヒタイノデアリマス、サウスレバ愛國貯金、國民貯金ノ精神ニモ適ヒマシテ、勿論其ノ一部ハ公債消化ニ、之ヲ充當スルト云フコトモ必要デアリマセウシ、又厚生省ハ各労働都市ニ對シマシテ、労働者ノ住宅ガ拂底シテ居ルト云フコトデ、労働住宅ノ建設等ニモ力ヲ注イデ居ラレマスコトハ、洵ニ結構デア

リマスガ、一段トサウ云フ資金ヲ之ニ當嵌メテ、サウ云フ施設モ擴充シテ行ク、或ハ更ニ進ンデ此ノ金ヲ以テ失業保險ノ基金ニ充當スルトカ、或ハ今日ノ廣瀨厚生大臣ガ、先年内務省社會局長官デアツタトキニ御考ニナリツツアリマシタ養老年金制ノ基金ニ充當スルトカ、サウ云フ社會保險、社會施設等ニ是等ノ金ヲ運用スルト云フヤウニシテ行キマスナラバ、其處ニ面白イ有效有利ナ仕事ガ、段々出來テ行クノデハナイカト考ヘルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テ何カ御考ニナツタコトガアリマセウカ、又將來サウ云フ風ニセラレテハ如何デアリマセウカ、御尋ヲ致シマス

○廣瀨國務大臣 此ノ種ノ積立金貯金等ニ付キマシテ、今マデ色々其ノ運用ニ付テハ考ヘテ居リマシタガ、尙ホ御話ノヤウナ點、私共ニ於テモ將來十分ニ研究ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○塚本委員 大體私ノ質問ハソレデ終了致シマスガ、殊ニ今日困ツテ居リマス問題ハ、厚生省ニ於テモ御承知ノヤウニ、勞働者住宅ノ拂底ノ問題デアリマシテ、ソレニ關聯シマシテ家賃ト云フモノモ、段々騰貴シテ居ル傾向ニナツテ居リマス、私ハサウ云フ風ニシテ勞働者ノ積立テテ居ル貯金ヲ利用

シテ、勞働者住宅ナドヲ盛ンニ建設シテ貰ヒタイト考ヘルノデアリマスガ、ソレト一方ニ今日昂騰ヲ見ツツアリマス家賃ニ對シマシテモ、是亦總動員法ノ發動ヲ見マシテ、家賃ノ騰貴ヲ防グコトモ必要カト考ヘマスガ、是等ノ點ニ付テ準備ガ進メラレツツアルノデアリマセウカ、伺ヒタイト思ヒマス

○廣瀨國務大臣 家賃ノ問題ニ付テ今マデモ厚生省、商工省、内務省等カラ、ソレノ關係地方廳等ニ通牒等ヲ出シマシテ、家賃ノ騰貴ヲシナイヤウニ十分ニ之ヲ防ギ、又他面ニ職工ノ住宅等ヲ建設スル爲ニ、預金部ノ資金トカ、或ハ其ノ他ノ資金ヲ融通ヲスルト云フヤウナコトヲヤツテ居リマス、總動員法ヲ發動スルカドウカハ、是ハマダ何トモ私カラ申上デラレマセヌ

○塚本委員 私ノ質問ハ終了致シマス

○板谷委員長 山崎常吉君ノ厚生大臣ニ對スル質問ガ保留シテアリマスノデ、此ノ際之ヲ御許シ致シマスガ、モウ食事ノ時間モ來テ居リマスノデ、委員諸君御迷惑デモ、モウ暫ク御辛抱願ヒマス——山崎君

○山崎委員 私ハ國民體位向上ノ問題ニ付キマシテ、色々御尋シテ見タイ、斯ク考ヘテ居リマシタケレドモ、腹ガ減ツテハ戰ガ出來スト云フコトモゴザイマスノデ、成ベ

ク端的ニ御質問ヲ致シマシテ要ヲ得タイト考ヘマス、厚生大臣ハ本議會ノ勞働本會議ニ於キマシテ、先輩議員ノ體位向上ノ質問ニ對シマシテ御答ガアリマシタ、國民體位向上ニ對シテ厚生大臣ハドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカト云フ議員ノ質問ニ對シマシテ、厚生大臣ハ、國民體位ノ向上ハ國民生活ノ安定ニアリ、斯ウ云フ御答ガゴザイマシタ、私ハ之ニ反對デハゴザイマセヌ、勿論國民ノ體位ノ向上ハ生活ノ安定ニアリマス、ガ併シ現段階ノ社會情勢ニ於キマシテハ、私ハソレヨリモウ一步深ク、國民ノ生活狀態ヲ掘下ゲテ考ヘテ見ル必要ガアリハセヌカト云フコトヲ痛感スル者デゴザイマス、現段階ニ於キマシテハ、國民ノ生活ノ安定ト云ヒマスヨリハ、國民生活ノ均衡ヲ圖ル、是ガ現在社會情勢ノ根本問題デハナイカト考ヘマス、既ニ識者ガ御存ジノ如クニ、一方ニハ國民ノ生活ガ非常ニ安定出來過ギテ居ル部面ガアリ、一方ニハ非常ニ不安定ノ儘ニ、殆ド利那の生活ヲシテ居ル部面ガアルノデアリマス、私ハ現在ノ社會情勢ニ於キマシテ、此ノ均衡ヲ圖ルコトガ最モ急務中ノ急務デハナイカト考ヘマス、是ハドノ部面ガドウナツテト云フヤウナ工合ニ御話スルマデモナク、既ニ賢明ナ厚生大臣ハ御

分リノコトダト考ヘマス、此ノ點ニ付キマシテハ、色々ノ方面ノ凹凸ガ出來テ居ルコトハ御存ジノコトト思ヒマスノデ、私時間ノ關係上一々例ヲ取りマセヌガ、御分ニナツテ居ルナラバ、此ノ部面ニハ斯ウ云フヤウナ凹凸ガアル、之ニ對シテハ斯ウ云フヤウナ方針ヲ立テテ居ルノダト云フ、力アル御答辯ヲ御聽カセ願ヒタイト考ヘマス、更ニ又進ンデ過日、全國民ノ出產率ノ問題ニ付キマシテ御尋シタイト思ヒマスケレドモ、中心ノ方ガ御見エニナリマセヌノデ、農林省ノ方面ニ農村ノ出產率ノ減退ト云フコトヲ聽イタ所ガ、ソレハ厚生省ノ問題ダト云フノデ、農林省ノ方ハ逃グレラマシタ、幸ヒ今日ハ厚生大臣ガ御見エニナツテ居ルノデ、農村ト云ハズ、都市ト云ハズ、有エル部面ノ出產率ノ減退ニ付キマシテ、是ハ最モ大切ナ問題デゴザイマス、之ヲドウスルカト云フ問題ニ付テモ、既ニ御考ニナツテ居ラレハセヌカト思ヒマスノデ、私ハ唯一ツノ例ヲ申上ゲマシタケレドモ、諸般ノ點ニ付キマシテ安心ノ出來ルヤウナ御答辯ヲ戴キタイト考ヘマス

○廣瀨國務大臣 非常ニ大キイ問題デ、又重大ナ問題デアルト思ヒマス、私ガ本會議デ申上ゲタノハ、ヤハリ國民生活ノ安定ヲ根

本ニシテデナケレバ、國民體位ノ向上ハ出來ナイト云フコトヲ申上ゲタノデ、國民生活ノ安定ダケデ出來ルト云フ譯デハ無論ナイノデアリマス、ソコデ今山崎サンノ御質問ハ、社會ニ非常ナ不均衡ナコトガアル、凹凸ガアリ過ズルノデハナイカ、之ニ對スル是正ノ對策如何、斯ウ云フ非常ナ抽象的デ廣イ御質問デアリマスガ、是ハ申スマデモナク各方面ニ於テ此ノ種ノ問題ガアルノデ、私達ノ方デハ例ヘバ防貧政策デアルトカ、救貧政策デアルトカ云フコトヲ講ズル譯デアリマス、又租稅ノ方カラ言ヘバ、色々ナ租稅ニ依ル社會政策ト云フヤウナコトガ行ハレ、又產業經濟ノ方カラ言ツテモ、負擔ノ均衡ト云フ點カラ色々ナ施設ガ行ハレル、是ハ一言デ申シ切レルコトデハナイト思ヒマスガ、國家ノ政策トシテハ、常ニ全體ガ能ク調和ノ取レタ發達ヲスルヤウニ、經濟政策、財政政策、社會政策、總テガ行ハレテ行クベキモノデアルト思ヒマス、又私自身ノ所管ト致シマシテハ、ヤハリ社會政策的ノ各種ノ施設ニ付テハ、防貧ノ施設、又救貧ノ施設、尙ホ助長的ノ施設等ニ付テモ、出來ルダケ社會ニ於ケル不均衡ノナイヤウニ有ユル努力ヲ拂ツテ行ク積リデアリマス

尙ホ出生率ノ問題デアリマスガ、出生率ノ問題ハ最近稍、減退ノ傾向ニアルト云フコトヲ憂ヘラレテ居リマス、是ハ或ハ經濟上ノ問題、或ハ文化的ノ問題等、各方面ノ問題ガアルト思ヒマスガ、併シマダ我國ニ於テハ人口ノ増殖率ハ相當ニ高イ、併シナガラ御話ノヤウニ是カラ我國ガ大イニ發展シテ行ク爲ニハ、ドウシテモ人口ヲシツカリ維持シナケレバナラスト思フノデアリマス、是等ニ付テソレナラ如何ナル對策ガアルカト言ヘバ、是亦非常ニ根本的デアツテ、廣ク申上ゲマスレバ、ヤハリ國民生活ノ安定ヲ期スルト云フコトガ根本ニナルト思ヒマス、尙ホ差當リ出生率ノ問題等ニ付テハ、或ハ具體的ノ問題トシテ妊産婦ノ保護デアルトカ、或ハ乳幼兒ノ保護デアルトカ云フヤウナコトニ依リマシテ、出生率ヲ増シテ行キ、又維持シテ行クト云フコトニ努メナケレバナラス、其ノ他外國ニハ色々ナ實例ガアルヤウデアリマスガ、マダソコマデ私共ノ研究ハ行ツテ居リマセス、併シ私ノ方ノ所管デ人口問題ノ研究所ト云フモノモ、今度ノ豫算デ設ケルコトニナツテ居リマス、其ノ他公衆衛生ニ關スル大キナ公衆衛生院、或ハ色々ナ榮養關係ノ施設、又母子保護關係ノ法令其ノ他ニ依リマシテ、是等ヲ

綜合シテ色々ナ方面ヨリ出生率ノ向上ニ對シテ努力ヲ致ス積リデアリマス
○山崎委員 私ノ質問ガ大キナ問題デ抽象的デアツタト云フ御言葉デゴザイマシタガ、厚生大臣ノ御答下サツタ御言葉モ亦頗ル抽象的デ掴ミドコロガナイト云フコトニナリマス、是ハ洵ニ大キナ問題デゴザイマスノデ、相當大キナ豫算モ取ツテヤラナケレバナラス問題ダト思ヒマス、本會議、豫算委員會、各分科會ヲ通ジマシテ見マシタ時ニ、物的資源ノ擴充ト云フコトガ最も高ク掲ゲラレテ居リマス、コンナニ物的資源ノ擴充ガ高ク掲ゲラレタコトハ我國ニ曾テナイコトデゴザイマス、是ハ戰爭遂行ノ爲ニハ勿論當然ノコトデゴザイマセウ、併シ一面物的資源ノ擴充ニ缺クベカラザルモノハ人的資源デアリマス、言フマデモナク我國ガ此ノ聖戰ニ斯克マデ耐ヘテ來タ、各國人ヲ殆ド驚異サセタト云フ所ノ眞ノ力ハ人的資源ニアルト思ヒマス、又一面食糧政策ニ付テ、各國ノ例ヲ取ツテ考ヘマシテモ我國ハ非常ニ惠マレテ居ル、併シ是モヤハリ人的資源ノ充實シテ居ル結果デアルト思ヒマス、コンナコトハ事故改メテ申上ゲルマデモナク既ニ御分リニナツテ居ルコトデゴザイマスガ、併シナガラ物的資源ノ擴充ガ唱ヘラ

レテ居ル一面ニ、人的資源ニ對スル對策ハ、今厚生大臣ガ御示シニナツタ程度デアリマス、出生率ノ問題ニシテモ、體位向上ノ問題ニシテモ、議員ガ誰モソナニ掘下ゲテ聽イテ居ラレナイ、是ハ私ハ由々シキ問題デハナイカト考ヘマス、最近漸ク各新聞モ識者モ、ボツ／＼人的資源ノ對策ニ付テ考ヘラレテ參ツタコトヲ非常ニ心強ク嬉シク考ヘテ居リマス、時間ガアリマセヌデスカラ、コ、ガスウデアアルカラ斯ウセイイト云フヤウナコトモ、隨分アリマスケレドモ、申シマセス、今労働者方面ノ軍需産業ト平和産業ノ方面ノ問題ニ付キマシテ、塚本君カラ細カイ話ガゴザイマシタガ、私ハ軍需産業方面ト平和産業方面トノ凹凸ガ益、激シクナツテ來ルタツタ一ツノ例ヲ御話申上ゲテ置キタイト思ヒマス、勿論賃銀率ニ對シマシテハ、ソナニ飛躍的ノ増進デハゴザイマスマイ、併シ減退トハ言ヘマスマイ、定規ノ賃銀ハソナニ上ツテ居リマセヌデセウケレドモ、時間外労働、或ハ請取制度ト云フヤウナ方面デ、別途的ノ收入ガ増シテ居リマス、是ハ勿論働ク労働者ノ労働ノ餘德デゴザイマシテ、當然デゴザイマス、併シ茲ニ餘程考ヘネバナラスノハ、人ノ身體ニハ働ク限度ガアリマス、金ガ儲カル

カラト云フノ無理ニ働イテ居ル、又無理ニ働カセテ居ル、働イタ結果ドウナルカ、飲ム、打ツ、買フ、是ハ上カラ下マデサウデス、之ヲドウスルカト云フ問題ハ大變重要ナ問題デスケレドモ、之ヲ何トカシナケレバ、段々ト體ヲ摺減ラス如ク減ラシテシマヒマス、サウシテ其ノ一面デハ家ニ何ヲ持ツテ來ルカ、別途收入ノ金ハ持ツテ來ハシナイ、ソレハ料理屋ニ預ケテアル、家へ持ツテ來レバ家内ニ取ラレルカラ預ケテアル、是モ實際憎メナイデス、家ニ持ツテ來ル土產ハ花柳病デス、ソレノ母體ニ及ボス所ノ影響、生レル第二國民ハ如何、是ハ實ニ大キナ問題ト思ヒマス、サウ云フ賃銀ノ問題モアリマスガ、一面精神的ニハ軍需産業ハマダノココ數年ノ間ハ大丈夫ダ、俺達ノ失業ハナイ、賃銀ハソシナニ上ラズトモ、ソコニ精神上ノ安定ガアリマス、ソレガ爲ニ金ヲサウ云フ方面ニ使フト云フコトニナル、一方平和産業部面ハ實ハ仕事ハアリマス、品物ハ賣レマス、併シナガラ統制ノ結果材料ヲ廻シテ貰ヘナイ、ソレデ色々ト苦心シテ材料ヲ辛ウジテ得ルト云フヤウナ種々ノ悲喜劇ガゴザイマス、其ノ結果ドウカト云ヘバ、事實問題ト致シマシテ、仕事ハシタガ問屋ニ搾ラレル、即チ高利ノ

金ヲ借りテ無理ヲシテ材料ヲ仕入レル、其ノ高利ノ利子ガ拂ヘナイ、是カラ先材料ヲドウスルカト云フヤウナ精神的ナ惱ミガゴザイマス、一面軍需産業ノ方ハサウ云フ好景氣ノ結果、生活ノ安定ガアリ過ギテ身體ヲ壞シテ居ル、平和産業ノ方面ハ惱ミニ惱ミ抜イテ身體ヲ壞シテ居ル、兩方面カラ身體ヲ壞シテシマフ、斯ウ云フコトニ付テハ、識者ニ於テハ周到ナ注意ヲ拂ツテ戴カナケレバナラスト思ヒマス、是ハ唯一例ヲ申上ゲタニ過ギマセヌ、ソレカラ出產率ノ減退ニ付キマシテハ、是ハ既ニ第一線ニ産ミ盛リノ青年ガ召集サレテ居ルノデ、アトハ留守勝ニナツテ居リマス、此ノ儘放任スルコトハ勿論出來マセヌノデ、是ハ國內ニ殘ツテ居リマス所ノ青年ニ對シマシテ、結婚年齡ヲ繰上ゲルトカ、何トカ致シマシテ、増産ノ方法ヲ講ジナケレバイカヌト思ヒマス、是モ大變難カシイ問題デアリマスケレドモ、何ト致シマシテモ日滿支一體ニナリマシテ、國防計畫、東亞ノ建設ヲヤツテ行キマスニハ、何ト致シマシテモ人ノ問題デゴザイマセウ、私ハ物ノ擴充ト云フヨリモ、人間ノ増殖ト云フコトニ最モ中心點ガ置カレナケレバナラスノデハナイカト思フ、幸ニ是ガ段々ト想起サレ出シマシタノデ、非常ニ心

強く思ヒマスガ、特ニ厚生省ニ於テハ此ノ點ニ付テ御研究御留意願ヒタイト考ヘマス、最後ニ今ノ體位ノ向上ハ、サウ云フヤウナ方面デナク或ハ色々ノ問題ニ關係シマセウガ、精神方面或ハ思想ノ方面、各般ニ互ツテ考ヘテ戴カナケレバナラスト思ヒマス、所ガ今ノ政府ノヤリ方デハ、先程一例ヲ申上ゲマシタ如クニ、農村ノ出產率ニ付テ、農林省ニ聽ケバ分ルト思ヘバ、厚生省ニ聽イテ吳レト云フヤウナ譯、或ハ人ノ問題ハ厚生省、内務省、商工省、農林省、文部省ト云フヤウナ工合ニ區々ニナツテ居リマス、ドノ問題ハ何處ヘドウ持ツテ行ツタラ宜イカ分ラナイト云フヤウナ狀態デゴザイマス、ソコデ出來レバ私ハ體位向上ニ對シマシテモ、或ハ思想ノ問題ニ對シマシテモ、精神上ノ問題ニ對シマシテモ、勞働力ノ問題ニ致シマシテモ、綜合的ニ一貫シタ所ノ指導方針ガ立テラレナケレバナラナイト思フ、其處へ行ケバ總テ分ル、其處デ總テ人間ニ對スル問題ハヤツテ居ルト云フヤウナ、權威アル獨立シタ一省ガ出來ナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、之ニ付テハ總理大臣ノ所見ヲ質シタイト思ヒマスケレドモ、責任アル厚生大臣ガ御見エニナツテ居リマスカラ御尋シテ置キタイト思ヒマ

スガ、將來我國ニハ左様ナ人的資源ノ確立ヲ期スルガ爲ニ、勞働省ト云フヤウナモノガ出來ナケレバナラナイノデハナイカ、斯ウ考ヘマス、厚生省ニ於キマシテハ將來サウ云フヤウナコトヲ考ヘル御意思ハナイカドウカト云フコトヲ、一應承ツテ置キタイト思ヒマス

○廣瀬國務大臣 色々人的資源ノ涵養ノ問題ニ付テ御注意ガアリマシタ、私共モ全く同感デアリマス、人的資源ノ問題ハ段々社會的ニモ認メラレテ參リマシタガ、將來大イニ力ヲ入レナケレバナラスト思ヒマス、ソレカラ尙ホ殷賑産業方面ニ付テ色々缺點ガ起キテ居ル、是等ニ付テハ色々ヤツテ居リマス、精神的ニモヤリ、又現實ニ貯蓄獎勵ノ如キモヤリ、生活刷新ノ如キモヤリ、色々ヤツテ居リマスガ、尙ホ足ラス所ハ十分ニヤリマス、ソレカラ出產率低下ノコトニ付テハ、御話ノヤウニ、事變下ノ爲ニ子供ノ生レルノガ減ルダラウト思フ、ドウモ三十万カラ減ルノデハナイカト心配シテ居リマス、ソコデ仕方ガアリマセヌカラ、生レタ子供ハ是非育テ行キタイ、死ナナイヤウニシヨウ、日本ハ乳幼児ガ非常ニ死ヌ、之ヲ何トカ育テ行カウト云フノデ、今年初メテ乳幼児ニ對シテ保護ノ金ヲ豫算ノ上

ニ少シ計上致シマシタ、マア五十万圓バカリデアリマスガ、初メテ乳幼児ヲ保護スルコトニナツタ、生レタ者ヲ出來ルダケ死ナサナイヤウニシヨウ、斯ウ云フコトニシテ第一歩ヲ踏出シタ譯デアリマス、是カラ大イニ力ヲ入レナケレバナラスト思ヒマス

ソレカラ尙ホ其ノ外ニ將來ノ大キナ問題トシテ、人的資源ノ問題、或ハ人ニ關スル行政ノ統一ト云フコトニ付テノ御意見ガアリマシタガ、現狀ニ於テモ人ニ關スル問題ニ付テハ、一般的ニハ厚生省、尙ホ教育方面ハ文部省、是等ガ大キナ所ダト思ヒマス、其ノ外各方面ニ關係ガアリマスガ、之ニ付テハ十分ニ連絡ヲ執ツテ居リマス、併シ尙ホ遺憾ノ點ガアリマスルノデ、是ハ十分連絡ヲ執ラナケレバナラスト思ヒマス

ソレカラ將來勞働省云々ノ御意見ガアリマシタガ、今ノ厚生省ト云フモノガ實ハ勞働省ヲ含ム、ソレカラ所謂保健省ヲ含シテ居ル、勞働省ト保健省ヲ含シテ行クカハ將來ノ問題デアリマスガ、現在デモ御話ノヤウナ勞働關係ノ行政ハ私ノ所デ統一シ、其ノ外ニ一般的ノ社會政策、保健衛生ヲヤル所謂保健省ヲ含シテ居リマス、御話ノ人的資源ノ涵養ニ關スル行政トシテハ、

モウ一段ト努力ヲシテ進メテ行キタイト思ヒマス、勞働省ヲ作ルカドウカト云フ將來ノコトハ一寸マダ申上ガ兼ネマス

○山崎委員 我國ノ乳兒死亡率ガ非常ニ多イ、之ニ對スル對策ヲ幾ラカ立テテ居ルト云フ御言葉デゴザイマシタガ、ヤルコトハヤラヌニ勝ルデアリマシテ、是ハ大イニ立テテ戴カネバイケマセヌ、唯僅ニ立テテ居ルノデハナクシテ、大イニドシ／＼ヤツテ戴キタイ、私共ハ議會ニ於キマシテハ勿論其ノ對策ガ立テテ戴ケレバ贊成致シマス、モウ一ツハ、花柳病豫防ニ付キマシテ、先程一寸觸レマシタガ、之ニハ萬全ノ策ヲ立テテ戴カネバイカヌ、乳兒ノ死亡率ト花柳病ノ蔓延、最近ハ特ニ事變下ニ入リマシテ、質ノ惡イモノガドシ／＼入ツテ來タト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレカラ結核ノ蔓延、是ハ農村ニハ結核ハアリマセナシタケレドモ、此ノ頃ハ紡績工場カラ歸ル娘達ガドン／＼農村ニ持ツテ歸リマスノデ、農村ニモ非常ニ結核患者ガ多イ、此ノ對策ニ對シマシテハ、保健上、體位向上ノ關係カラ、萬全ノ策ヲ立テテ戴クコトヲ要望致シマス

ソレカラ最後ニ勞働省ノ必要ヲ私ハ認メマス、ナケレバナラスト思ヒマス、體位ノ向上ニ付キマシテハ何處デヤツテ居ル、或ハ

精神上ノ問題ニ付テハ何處デヤツテ居ル、思想上ノ問題ニ付テハ何處デヤツテ居ル、斯ウ云フヤウナ區々デハ本當ノ仕事ガ出來ヨウ譯ガアリマセヌ、何トシテモ體ヲ作ラナケレバイケナイト云フ問題ニ付キマシテハ、體ヲ丈夫ニスルコト、日本精神ヲシツカリ植付ケルコト、或ハ又思想ノ問題、是ハ三ツ四ツバカリノモノハ一省デ立派ニ方針ヲ立テテ行カネバ本當ノ仕事ガ出來ヌト思ヒマス、今ノ厚生大臣ノ御答デハ、今直チニドウスウト云フコトヲ御答スルコトハ出來ヌト言ハレマシタケレドモ、私ハスルセスト云フコトハ非常ニ聽キタイト思ヒマス、併シナガラソレガ聽ケナイノ遺憾ト致シマスガ、斯ウ云フコトモ國民ノ間カラ、勞働省ヲ設置セヨ、勞働者ノ問題ハ勞働省ガ後楯ニナツテヤルト云フ決意ヲ示シテ戴ケバ勞働者ハ俺達ノ親分ガ出來タト云フヤウナ工合デ非常ニ意ヲ強クシマス、サウ云フヤウナ點カラ、若シ國民ノ間カラ勞働省ヲ設置希望ノ聲ガ起ツタナラバ、厚生大臣ハ反對ナサルカ、贊成ナサルカ、此處マデ突詰メテ御聽キシタイト思ヒマス

○廣瀨國務大臣 色々花柳病トカ結核其ノ他ニ付テモ尙ホ至ラナイ所ガアリマスガ、出來ルダケノ努力ヲ拂ツテ行キタイト思ヒ

マス、ソレカラ勞働省ノ問題デアリマスガ、是ハ現在勞働局ト云フモノガアツテ、是ガ勞働關係ノコトヲ統轄シテヤツテ居リマス、省デナクテモ是デヤツテ行ツテ居ル譯デアリマス、足ラナイ所ハ又是ハ補ツテ行カナケレバナリマセヌ、尙ホ其ノ外ニ民間カラ勞働省設置ノ希望ガアツタ場合ニ、反對スルカドウカ、ソレハ其ノ時ニ篤ト一ツ考ヘサセテ戴キマス

○板谷委員長 諸君ニ御諮リ致シマス、マダ關聯事項ニ付テ御質問ナサル御希望ノ方モオアリニナラウト思ヒマスガ、此ノ委員會ハ是デ終了スル譯デハナイノデ、又適當ノ機會ニ出來ルダケ諸君ノ御希望ヲ御容レシタイト思フノデアリマスガ、大體此ノ邊デ一ツ梟ヲ付ケタラドウカト思ヒマス、ソコデ北海道拓殖銀行法中改正法律案ヲ除イタ各案ニ對スル質疑ハ終了シタト見テ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○板谷委員長 御異議ナシト認メマス、ソレデハ明日ノ午後一時半カラ開會致シマシテ、其ノ際若シ緊急ノ御質問ガアツタナラバ簡單ニ御許シスルコトニシテ、討論ヲ開イテ採決ニ入リタイト思ヒマス、ドウカ各派ノ諸君ハソレマデニ御意見ヲ御纏メ下サ

イマシテ、明日ノ委員會ニ御臨ミアランコ
トヲ希望致シマス、宜シウゴザイマスカ
〔「宜シウゴザイマス」ト呼フ者アリ〕

○板谷委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ散會
致シマス
午後零時四十七分散會

〔参照〕

田中委員ノ要求ニ對スル資料(大藏省)

國防獻金、恤兵金ニ關シ金額及調達品目明細表(支那事變發生後ノ分)

一、獻金種別金額左ノ通

種別	金額	備考
陸軍省	七三、一〇五	千圓 自昭和十二年七月 至〃十三年十二月
國防獻金	三三、一〇二	
恤兵金	二〇、九五五	
恤兵品	二〇、〇四七	
海軍省	二九、五二四	自昭和十二年七月 至〃十四年一月
國防獻金	一九、〇七〇	
恤兵金	八、三三〇	
恤兵品	二、一二三	
合計	一〇二、六二九	千圓未滿ノ端數ヲ切捨テ計上セルヲ以テ合 計ニ符合セス

二、國防獻品主要品種及數量左ノ通

陸軍省	備考
飛行機	(數) 一七七
戰車及裝甲車	六三
觀測車	三五
高射砲	一三一
重機關銃	四四二
輕機關銃	一二四

無線機	一二三
電話機	一四六
乘用自動車	九四
修理裝蹄自動車	二七
患者自動車	三九
濾水車	四〇
鐵帽	一、六一三
防毒面	五、六七〇
毛布	四一、六〇一
軍馬	一、〇六三
海軍省	
飛行機	(數) 一八六
自働艇	九五
內火艇	一二
機銃類	八七
受信機	一三六
聽音機	六
觀測車	二
戰車	三
砲類	一三
照空指導裝置	三
望遠鏡	一七三
測距儀	六〇
雜船	四
陸軍省	
三、恤兵金支拂內譯左ノ通	

受	理	高	二〇、九五五
支	拂	高	八、七四二
内			譯
派遣軍ニ對スル慰恤			六、〇四二
戰歿者遺家族弔慰金			一、九三九
傷病者入院中ノ慰安施設費			三五二
靖國神社祀者慰恤金			二一〇
其	ノ	他	一九八
計			八、七四二
差引使途未定額			一一、一一二
海軍省			
受	理	高	八、三三〇
支	拂	高	四、七九七
内			譯
軍事扶助事業 （大日本軍人援後會及厚生省ヲ經テ地方廳ヘ交付）			二九〇
戰傷病者慰安、出征軍人家族助濟施設			三、四七三
恤兵品及救恤品購入			六七三
戰歿者弔慰金及戰傷病者慰恤等			三六〇
差引使途未定額			三、五三三
陸軍省			
恤兵品主要品種及數量金額左ノ通			
品	名	數量	金額
慰問袋		一一、二一四 千個	一六、八二二 千圓
其他			三、二二四
計			二〇、〇四七

海軍省		品名		數量	金額
慰問袋	其ノ他	計		一、一八〇 千個	一、七七〇 千圓
				三、九九五	三五三
				五、一七五	二、一二三
備考					
其ノ他ハ雜誌、梅干、罐詰、レコード、清涼飲料、煙草、清酒等ナリ					

頁段		行		誤		正	
九	四	四	四	感ゼラレル	減ゼラレル		
衆議院昭和十四年度一般會計ノ 財源ニ充ツル爲公債發行ニ關ス ル法律案外ニ件委員會議錄第四 回中正誤							
頁段		行		誤		正	
二	二	三	三	昭和二年度	支店設置ノ		
衆議院昭和十四年度一般會計ノ 財源ニ充ツル爲公債發行ニ關ス ル法律案外ニ件委員會議錄第五 回中正誤							
頁段		行		誤		正	
一	九	四	四	補充使途	補充費途		
一	九	四	四	置キマシテ	置キマシテ		
二	三	一	三	致シマスル方	開イテ 致シマスル		
衆議院昭和十四年度一般會計ノ 財源ニ充ツル爲公債發行ニ關ス ル法律案外ニ件委員會議錄第七 回中正誤							

昭和十四年二月十四日印刷

昭和十四年二月十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局